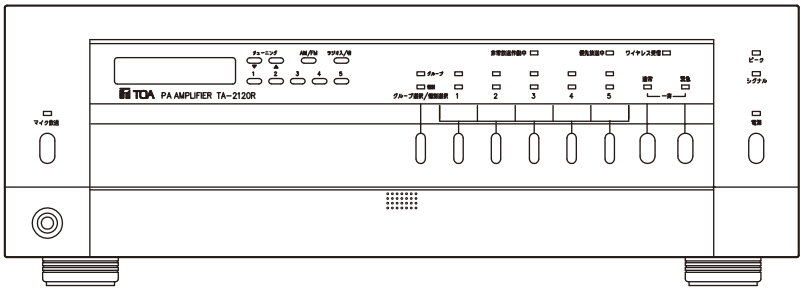
TOA

取扱説明書

卓上型アンプ　TA-2030、TA-2030R
TA-2060、TA-2060R
TA-2120、TA-2120R



※ 図はTA-2120Rです。

このたびは、TOA 卓上型アンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

安全上のご注意 4

概　要 7

特　長 7

使用上のご注意 7

各部の名称とはたらき 8
　前面 8
　後面 11
　底面 13

設定・操作の前に 13

設定のしかた 14
　音量・音質の調節をする 14
　ミュート量調節のしかた 15
　コンプレッサー機能入／切のしかた 15
　グループ登録をする 16
　制御入力による放送系統制御の設定 18
　呼び出しチャイム音設定のしかた 20

操作のしかた 21
　マイクを使って一斉放送をする 21
　マイクを使って個別放送をする 22
　マイクを使ってグループ放送をする 23
　CD プレーヤーなどで放送する 24
　ラジオチューナーの周波数の合わせかた
　　（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ） 25
　ラジオを受信して放送する
　　（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ） 26
　リモート機能付きのマイク（別売品）で放送する 27
　ワイヤレスマイクで放送する 28
　放送の優先順位 29
　リセットのしかた 29

設置と接続 30
　入出力機器の接続 30
　入力 1、2 の切り換え 32
　マイク入力 1、2 の接続のしかた 32
　優先入力 1、2 の接続のしかた 33
　ライン入力 1、2 の接続のしかた 33
　予備入力 1、2 の接続のしかた 34
　パワーアンプ入力の使いかた 35
　入力 1、入力 2、ライン出力の平衡型への変更 35

スピーカーの接続 36
AM/FM アンテナの設置と接続 38
ワイヤレスチューナーユニットの組み込みかた 40
ワイヤレスアンテナの接続 40
電話ページングの接続のしかた 41
リモートマイクの接続のしかた 42
一斉リモートマイクの接続 44
増設スピーカーセレクター（別売 SS-2005）の接続 45
非常用放送設備との接続 46
制御入力が入ったときの放送状態 47
ブロック図 49

故障かなと思ったら 50

仕　様 51

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号	
分解禁止	禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

配線後は端子カバーを取り付ける

ハイインピーダンスラインのスピーカー端子には最大 100 V の電圧がかかりますので、触れると感電の原因となります。

強　制

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、電源プラグやアンテナ線にはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

電源を入れる前には音量を最小にする

音量を上げたまま電源を入れると、突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

強　制

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁　止

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

概　要

5 局スピーカーセレクター（個別，グループ切換可）および非常時電源断機能、電話ページング機能を内蔵した卓上型 PA アンプです。
TA-2030R、TA-2060R、または TA-2120R には、上記に加え AM/FM ラジオチューナーが付いています。

特　長

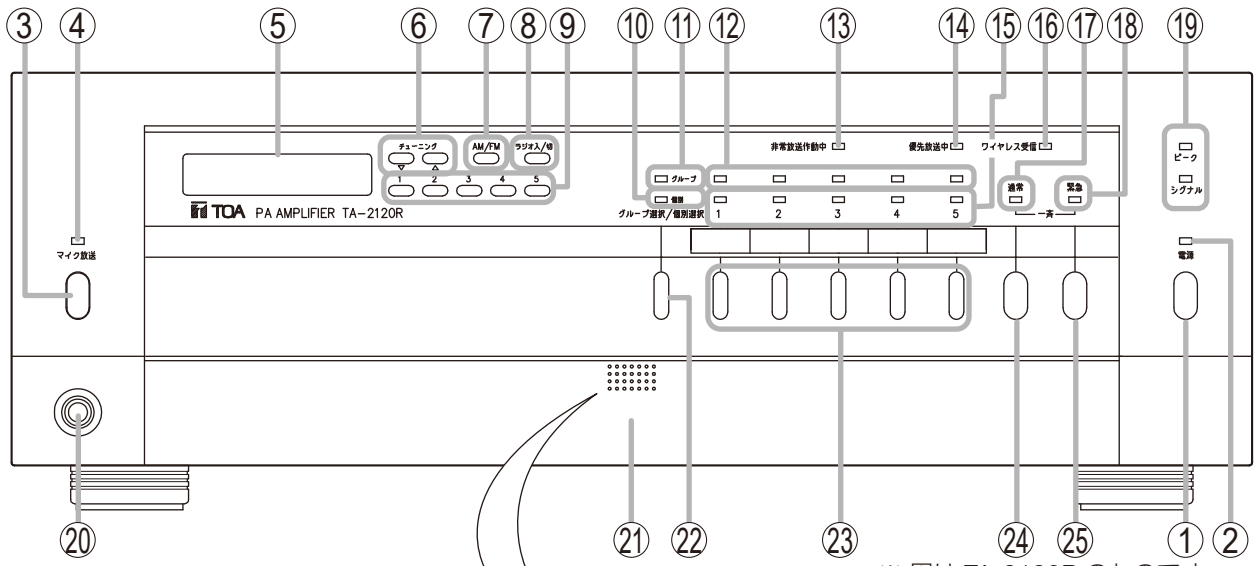
- **簡単呼び出し機能内蔵**
  別売のリモート機能付きマイクを使用すると、マイクのスイッチを操作するだけで、電源リモート、呼び出しチャイム音起動、マイク放送ができます。
- **電源リモート用リレー内蔵**
  リレーボックスを追加しなくても、電源リモートや一斉放送制御ができます。
- **5 局リレーボックス機能内蔵**
  別売の 5 局リモートマイク RM-2005 と接続するときに、リレーボックス追加の必要がありません。
- **非常カット機能内蔵**
  非常用電源制御器を追加しなくても、非常カットができます。ローカルアンプやサブアンプとしても最適です。
- **呼び出しチャイム音内蔵（切り換え式）**
  4 種類のチャイムから選ぶことができます。
- **ワイヤレス機能内蔵**
  別売のワイヤレスチューナーユニット WTU-1710 を 1 台組み込むことができます。
- **グループ選択機能**
  スピーカーセレクターは個別選択だけではなく、5 つのグループに任意の放送系統を記憶させ使用できます。
- **放送の優先順位**
  放送の内容により、優先順位を使い分けることができます。

使用上のご注意

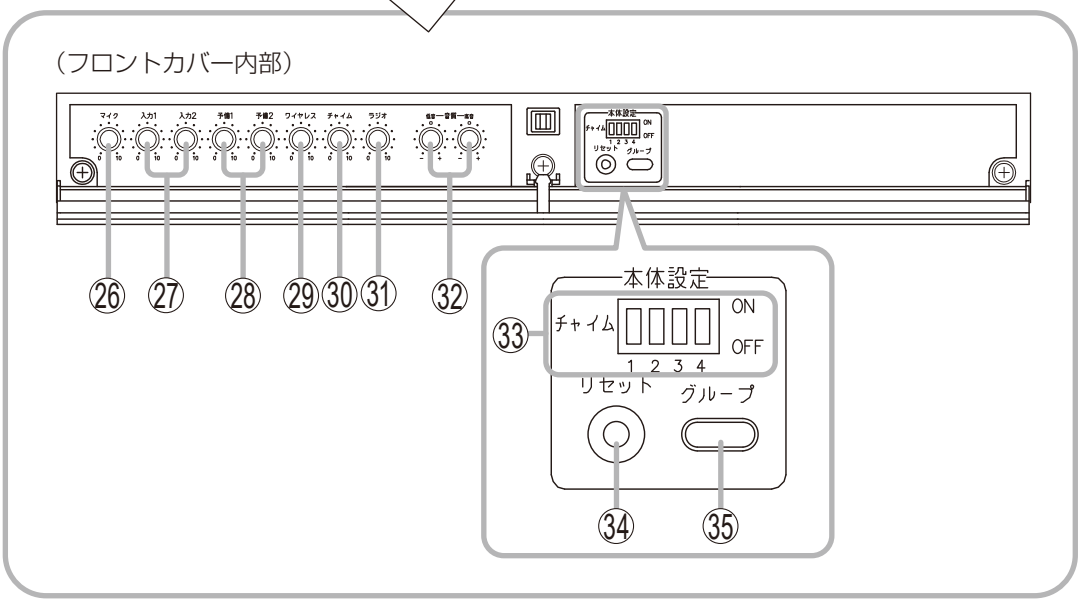
- ケースに殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。
  また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変色したり、塗装がはげるなどの原因になります。
- 汚れたときは、乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤をしみこませた布で軽くふいてから、からぶきしてください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。

各部の名称とはたらき

[前面]



※ 図は TA-2120R のものです。



① 電源スイッチ

押すと電源が入り、電源が入った状態で、0.3 秒以上押すと電源が切れます。

② 電源表示灯

電源を入れると点灯します。

③ マイク放送スイッチ

マイク入力ジャック⑳に接続したマイクから放送するときに押します。
呼び出しチャイムが鳴るように設定されているときは、このスイッチを押すと呼び出しチャイムが鳴ります。（☞ P. 20）

④ マイク放送表示灯

マイク入力ジャック⑳または後面のページングマイク入力コネクター㊷に接続したマイクからの放送が可能なときに点灯します。
呼び出しチャイムが鳴っている間は点滅します。

⑤ 周波数・メモリー番号表示部
（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）

受信波数とメモリー番号を表示します。

⑥ チューニングスイッチ
（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）

ラジオ放送局を選局します。

⑦ **AM/FM バンド切換スイッチ（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）**
AM 放送と FM 放送を切り換えます。

⑧ **ラジオ入／切スイッチ（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）**
押すとラジオが動作し、もう一度押すと停止します。
ラジオが動作すると、周波数・メモリー番号表示部⑤が点灯します。（☞ P. 26）

⑨ **メモリー選局スイッチ（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）**
放送局を記憶します。
また、記憶した放送局の呼び出しができます。
（☞ P. 25）

⑩ **個別選択表示灯**
グループ選択／個別選択スイッチ㉒で個別を選択したときに点灯します。

⑪ **グループ選択表示灯**
グループ選択／個別選択スイッチ㉒でグループを選択したときに点灯します。

⑫ **グループ出力表示灯**
出力選択スイッチ㉓で選択したグループ番号の表示灯が点灯します。

⑬ **非常放送作動中表示灯**
非常放送設備から非常断 24 V 信号が接続されていると、非常放送作動中にこの表示灯が点灯して、本機の放送が遮断されます。

⑭ **優先放送中表示灯**
後面の制御入力端子㊺の入力 1 制御、入力 2 制御、電話ページング、一斉リモート端子が制御されたときに点灯し、下位の優先順位の入力がカットまたはミュートされます。

⑮ **個別出力表示灯**
出力選択スイッチ㉓で選択した個別の放送系統、またはグループ選択した放送系統の表示灯が点灯します。

⑯ **ワイヤレス受信表示灯**
ワイヤレスマイクからの電波を受信したときに点灯します。
ワイヤレスマイクを使用するためには、別売のワイヤレスチューナーユニット WTU-1710 が必要です。（☞ P. 28）

⑰ **通常一斉表示灯**
通常一斉放送時に点灯します。

⑱ **緊急一斉表示灯**
緊急一斉放送時に点灯します。

⑲ **出力レベル表示灯**
出力音量を表示します。
シグナルの表示灯のみが点灯し、ピークの表示灯は点灯しないように、音量を調節してください。

⑳ **マイク入力ジャック**
–66 dB *、600 Ω、不平衡、ホーンジャック
有線マイクを接続します。放送にはマイク放送スイッチ③を使用します。

㉑ **フロントカバー**
カバーを開くと、各種の音量つまみや、呼び出しチャイム音の設定ができるスイッチがあります。

㉒ **グループ選択／個別選択スイッチ**
押すたびに、出力選択スイッチ㉓の機能がグループまたは個別選択のどちらかに切り換わります。

㉓ **出力選択スイッチ**
グループ選択／個別選択スイッチ㉒がグループのときは放送系統のグループが選択でき、個別のときは放送系統が個々に選択できます。

㉔ **通常一斉スイッチ**
通常一斉放送をしたいときに押します。
通常一斉放送ではスピーカー出力の緊急ライン（R）は出力されないため、スピーカーのアッテネーターが OFF のときは放送されません。

㉕ **緊急一斉スイッチ**
緊急一斉放送をしたいときに押します。
緊急一斉放送ではスピーカー出力の緊急ライン（R）が出力されるので、スピーカーのアッテネーターが OFF のときでも放送されます。

㉖ **マイク音量つまみ**
マイク入力ジャック⑳または後面のページングマイク入力コネクター㊷に接続されたマイクの音量を調節します。（☞ P. 14）

㉗ **入力音量つまみ（1、2）**
後面の入力 1 または 2 の入力ジャック㊶に接続された機器（マイク、メロディクス、デジタルアナウンスマシン、外部ミキサーなど）の音量を調節します。（☞ P. 14）

* 0 dB = 1 V

㉘ 予備入力音量つまみ（1、2）

後面の予備入力 1 または 2 のジャック㊿に接続された機器（CD プレーヤーや BGM 演奏装置など）の音量を調節します。（☞ P. 14）

㉙ ワイヤレス音量つまみ

ワイヤレスマイクの音量を調節します。
（☞ P. 14）

メ モ

ワイヤレスマイクの接続には、別売のワイヤレスチューナーユニット WTU-1710 が必要です。
（☞ P. 40）

㉚ チャイム音量つまみ

呼び出しチャイム音設定スイッチ㉝で設定したチャイム音の音量を調節します。（☞ P. 14）

㉛ ラジオ音量つまみ
（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）

受信したラジオの放送音量を調節します。
（☞ P. 14）

㉜ 音質調節つまみ

放送の音質を調節します。（☞ P. 14）

㉝ 呼び出しチャイム音設定スイッチ

放送時の呼び出しチャイム音の入／切の設定と、チャイム音（4 種類）の設定を行います。
（☞ P. 20）

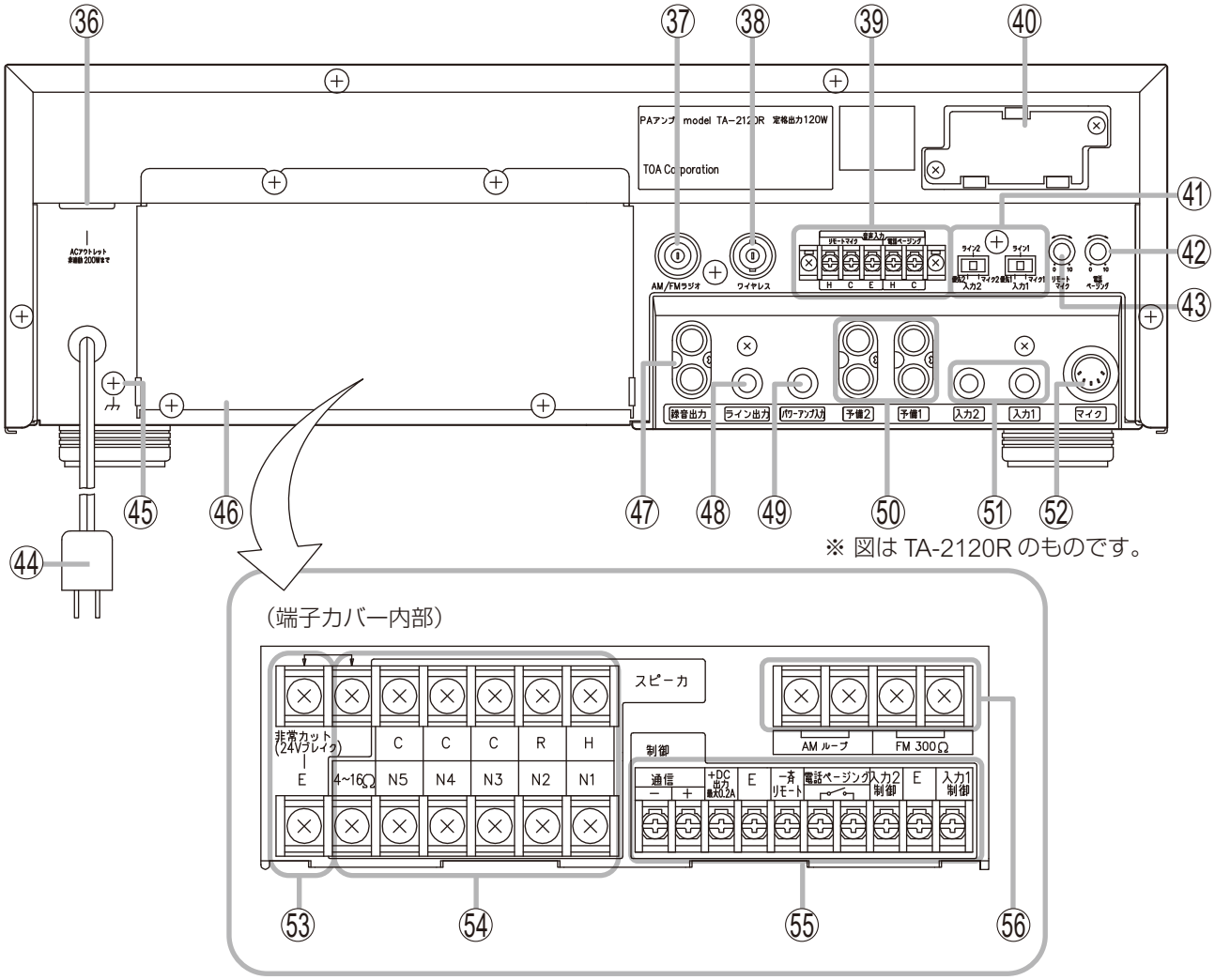
㉞ リセットスイッチ

本機が誤作動したり、操作不能になったりした場合に、リセットするためのスイッチです。
（☞ P. 29）

㉟ グループ設定スイッチ

個別または複数の放送系統を組み合わせて、放送系統のグループを設定するときに使用します。
（☞ P. 16）

[後面]



※ 図は TA-2120R のものです。

㊱ AC アウトレット

他の機器の電源コンセントとして、前面の電源スイッチ①の「入／切」に関係なく、使用できます。

ご注意

接続できるのは、消費電力が 200 W 以下の機器のみです。

㊲ AM/FM アンテナ F 型接栓（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）

市販の外部アンテナを接続するための F 型接栓です。（☞ P. 38）

㊳ ワイヤレスアンテナ接続コネクター

別売の 800 MHz 帯のワイヤレスアンテナを接続するための BNC コネクターです。（☞ P. 40）

㊴ 音声信号入力端子

電話ページング：–12 dB *、5 kΩ、不平衡、M3 ねじ端子
リモートマイク：–12 dB *、600 Ω、平衡、M3 ねじ端子

電話ページング、別売のリモートマイクのそれぞれの音声信号を接続できます。
（☞ P. 41、42）

㊵ ワイヤレスチューナーユニット収納部

ワイヤレスマイクを使用するときに、別売のワイヤレスチューナーユニット WTU-1710 を 1 台収納できます。（☞ P. 40）

㊶ 入力切換スイッチ（1、2）

入力ジャック㊿に接続した機器の信号レベルや優先順位に合わせて、「マイク／ライン／優先」のいずれかに設定します。（☞ P. 32）

㊷ 電話ページング音量つまみ

音声信号入力端子㊴に接続した電話ページングの音量を調節します。

㊸ リモートマイク音量つまみ

音声信号入力端子㊴に接続したリモートマイクの音量を調節します。

* 0 dB = 1 V

㊹ 電源プラグ

AC100 V、50/60 Hz の電源コンセントに接続して使用できます。

㊺ 機能アース端子

本機に外部機器を接続してノイズが多いときは、この端子と外部機器の機能アース端子を接続してください。ノイズが少なくなることがあります。
※ 安全アースではありません。

㊻ 端子カバー

カバーを開くと、各種の入出力端子があります。

㊼ 録音出力ジャック

0 dB *1、600 Ω、不平衡、RCA ピンジャック
放送内容を録音機器に録音するための出力ジャックです。

㊽ ライン出力ジャック

0 dB *1、600 Ω、不平衡、ホーンジャック
パワーアンプを増設する場合に、音声信号を取り出します。（平衡型トランス取り付け可能）

㊾ パワーアンプ入力ジャック

0 dB *1、10 kΩ、不平衡、ホーンジャック
本機のパワーアンプ部を、プリアンプ部から切り離して使用する場合に、音声信号を入力します。

㊿ 予備入力ジャック（1、2）

–12 dB *1、5 kΩ、不平衡、RCA ピンジャック
CD プレーヤーや BGM 演奏装置などの音声信号を接続します。

(51) 入力ジャック（1、2）

600 Ω、不平衡、ホーンジャック
入力レベルは、接続した機器の信号レベルや、優先順位にあわせて、入力切換スイッチ㊶を「マイク／ライン／優先」のいずれかに設定します。
（☞ P. 32）

設定	入力レベル
マイク	–66 dB *1
ライン	–12 dB *1
優先	–12 dB *1

マイク、メロディクス、デジタルアナウンスマシン、外部ミキサーなどを接続します。
（平衡型トランス IT-450 取り付け可能）

(52) ページングマイク入力コネクター

–66 dB *1、600 Ω、不平衡、DIN ジャック
別売のリモート機能付きマイク*2 を接続します。
（☞ P. 30）

ご注意

前面のマイク入力ジャック⑳とは同時に使用できません。両方にマイクを接続した場合は、マイク入力ジャック⑳の入力が優先され、このコネクターに接続されたマイクでの放送はできません。

(53) 非常カット信号端子

非常放送設備からの非常断 24 V 信号を接続します。（☞ P. 46）

(54) スピーカー端子

スピーカー線を接続します。（☞ P. 36）

(55) 制御入力端子

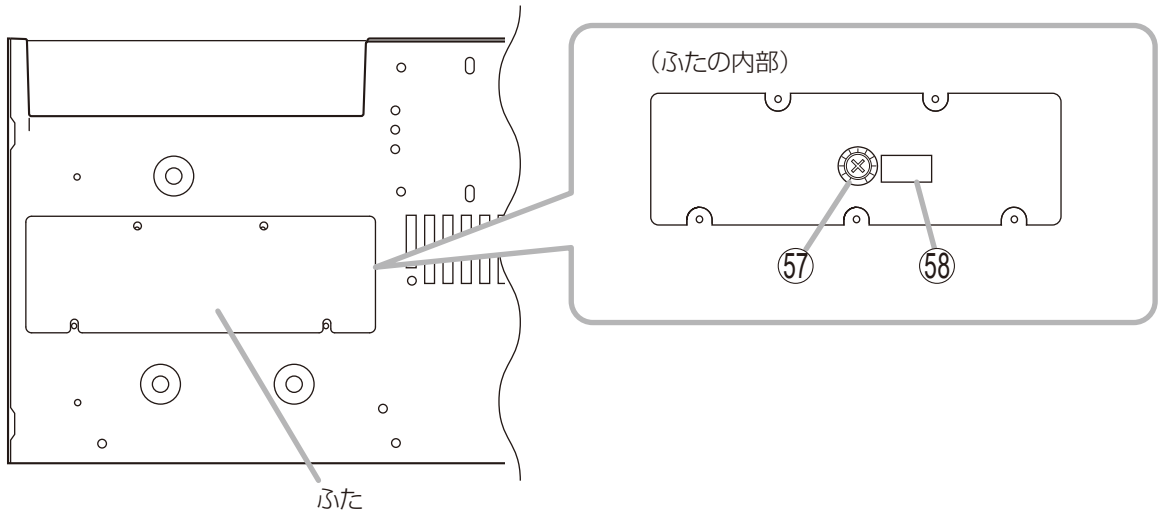
M3 ねじ端子
別売のリモートマイク、電話ページング、別売のリモートユニットなどの制御信号を接続します。

(56) AM/FM ラジオアンテナ端子（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）

AM アンテナ、FM アンテナを接続します。
（☞ P. 38）

*1 0 dB = 1 V
*2 PM-660D、PM-222D、DM-1200D

[底面]



57 ミュート量調節器

放送のミュート量を調節します。（☞ P. 15）

58 コンプレッサー機能入／切スイッチ

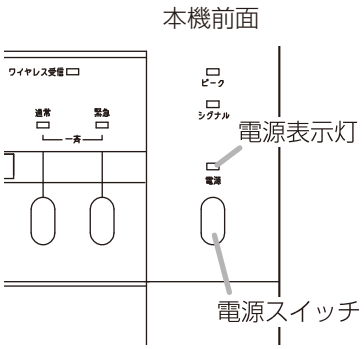
誤って音量つまみを上げ過ぎても、自動的に出力が歪まない範囲に制限するなど、音量を自動で調節します。（☞ P. 15）

設定・操作の前に

1 本機前面の電源スイッチを入れ、電源表示灯が点灯していることを確認する。

- 電源を入れると、前に電源を切ったときの放送状態（入出力系統の選択）になります。
- 電源を切るときは、電源スイッチを 0.3 秒以上押してください。
  電源を入れるときは、電源スイッチを押すとすぐに入ります。

※ 以後の操作説明では、電源スイッチの「入／切」の説明は省きます。



2 音量を調節する。

- マイク放送の音量やその他の入力機器の音量は、あらかじめ設置時に調節しておいてください。放送の都度、音量を調節しなくてすみます。
- 音量の目安を示す「マーキングシール」は、フロントカバー内側に貼ってご使用ください。
  （☞ P. 14「音量・音質の調節をする」）

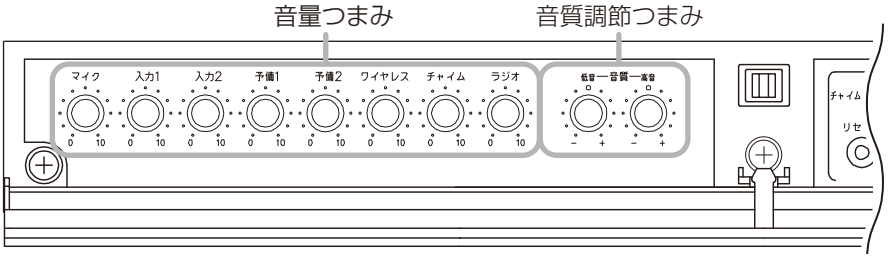
メ モ

- あらかじめチャイム音設定スイッチで、チャイム音を選択しておくと、マイク放送開始時に自動的にチャイムが鳴ります。（工場出荷時設定：上り下り 4 音チャイム）
  詳しくは、P. 20「呼び出しチャイム音設定のしかた」をお読みください。
- 本機は放送の内容によって、入力の放送優先順位が設定されています。
  （例）BGM 放送中にマイク放送をすると、自動的に BGM 放送が中断されマイク放送に切り換わります。マイク放送が終了すると、自動的に BGM 放送がゆっくりと元の音量に戻ります。ご自分で音量を調節する必要がなく、便利にお使いいただけます。（☞ P. 15「ミュート量調節のしかた」）

設定のしかた

■ 音量・音質の調節をする

（本機前面のフロントカバー内部）



● 音量を調節する

スピーカー全体の音量は、本機前面のフロントカバー内部にある、音量つまみで調節します。スピーカーごとの音量はスピーカーに音量調節器（アッテネーター）が付いている場合、その音量調節器で行います。
また、スピーカーの入力 W 数が切り換え可能なものは、H/L 切換スイッチまたは、入力端子、トランスのタップなどを切り換えて音量を調節します。

放送の音量は放送内容（プログラム）や放送する場所により、それぞれ違った音量となりますが、下記のような音量を目安として調節してください。緊急放送の場合はスピーカーの音量調節器（アッテネーター）の状態にかかわらず最大音量で放送されます。（音量調節器が「切」の状態になっていても放送されます。）

音量の目安

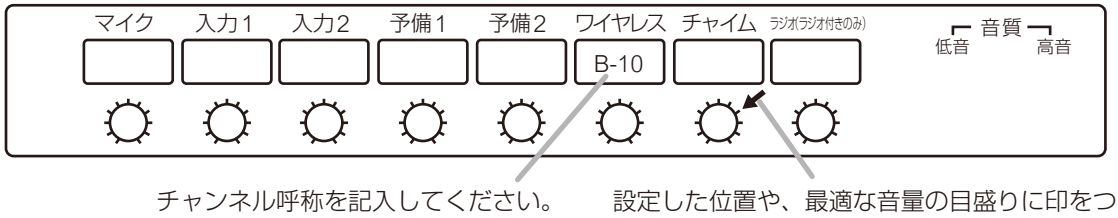
マイク放送、案内放送、時報・チャイム放送	周囲騒音より約 6 ～ 10 dB 大きい音量
BGM 放送	周囲騒音と同程度か、約 3 dB まで大きい音量

メ モ

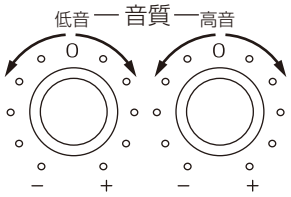
本機では前面に出力レベル表示灯がありますので、放送中に「シグナル」が点灯し、「ピーク」が点灯しない程度の音量に調節してください。ピークが常時点灯している状態で使用すると、音の歪みが多くなります。音量つまみを少し絞って調節してください。

音量調節が完了したら、付属のマーキングシールの音量目盛りに印を付けて本機のフロントカバーの内側に貼り付けてください。

［マーキングシール］



● 音質を調節する



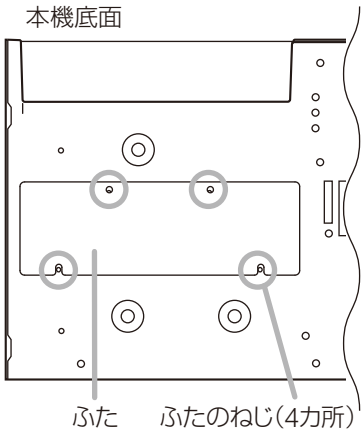
本機の音質調節は、フロントカバー内部にある音質調節つまみ（低音、高音）で行います。

中央 0 が、標準位置で周波数がフラットな特性になります。低音、高音ともに時計回り（＋）に回すと、それぞれが増強され、逆に反時計回り（―）に回すと、それぞれが減少します。

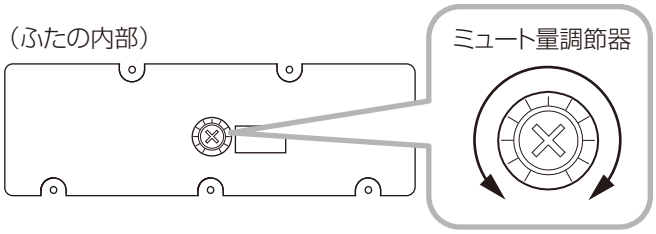
■ ミュート量調節のしかた

予備 1、2 およびラジオチューナーからの放送は、他の放送が始まると自動的に音量がミュートされ、放送が終了するとゆっくりと元の音量に戻ります。
ミュート量は、本機底面のふたの内部にあるミュート量調節器で調節できます。

1 **本機底面のふたを固定しているねじ（4 本）をゆるめて、ふたを開く。**



2 **ミュート量をミュート量調節器で調節する。**



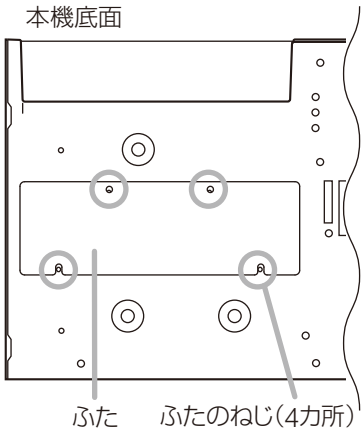
時計回りに回すと減衰量が大きくなり、回し切るとほとんど 0 まで下がります。
反時計回りに回すと減衰量が小さくなり、回し切るとほとんど減衰しません。
※ 工場出荷時には、ミュート量調節器は時計回りに回し切られています。

3 **手順 1 で開いたふたを元にはめ直し、4 本のねじで固定する。**

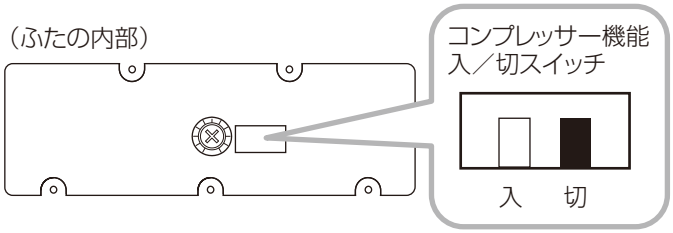
■ コンプレッサー機能入／切のしかた

本機にはコンプレッサー機能が内蔵されています。コンプレッサー機能「入」にすると、誤って音量つまみを上げ過ぎても、自動的に出力が歪まない範囲に制限されて、スピーカーからの放送が歪みで聞き苦しくなるのを防ぎます。

1 **本機底面のふたを固定しているねじ（4 本）をゆるめて、ふたを開く。**



2 **コンプレッサー機能を切り換える。**



※ 工場出荷時には、「切」の位置に設定されています。

■ グループ登録をする

複数の放送系統をグループにまとめて、1 つの放送系統として使用できます。
あらかじめ、よく放送する放送系統をグループとして登録しておくと便利です。
グループは 5 つまで登録できます。

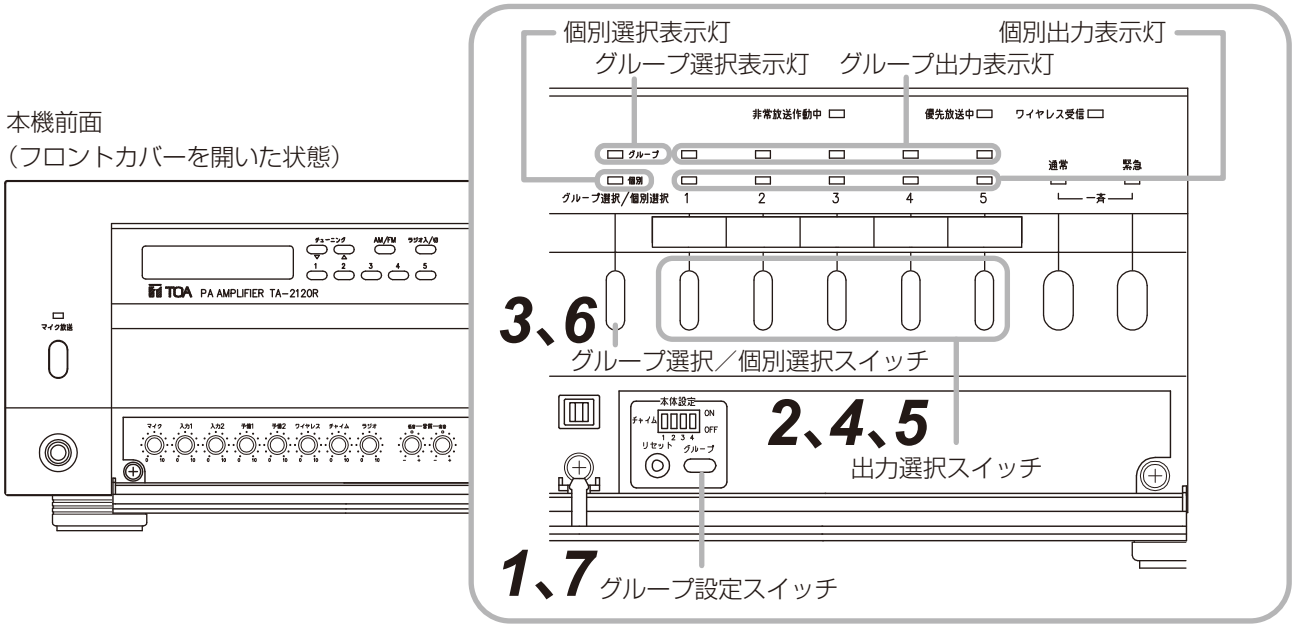
● 工場出荷時の設定

以下のように、それぞれ対応する番号で登録されています。

グループ放送系統 1 には、個別放送系統 1
グループ放送系統 2 には、個別放送系統 2
⋮
グループ放送系統 5 には、個別放送系統 5

● グループ登録のしかた

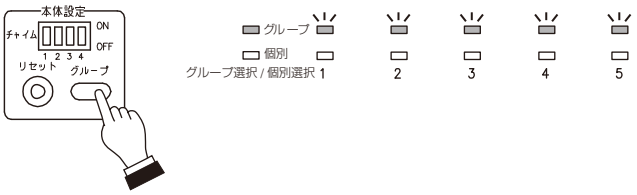
例として、グループ 1 に個別放送系統 2、3 を登録する方法を説明します。



説明に出てくる、各表示灯の図の見かたは以下のとおりです。

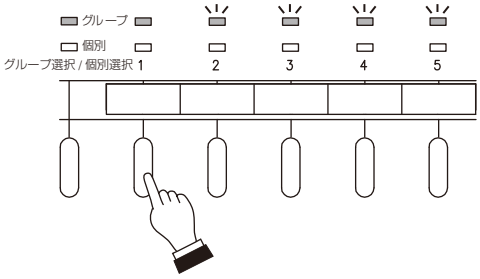
1 本機前面のフロントカバー内部にある、グループ設定スイッチを押す。

グループ選択表示灯が点灯し、グループ出力表示灯の 1 ～ 5 が点滅します。



2 出力選択スイッチの 1 を押す。

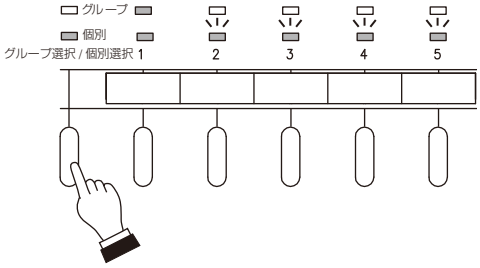
グループ出力表示灯の 1 が点灯します。



3 グループ選択／個別選択スイッチを押す。

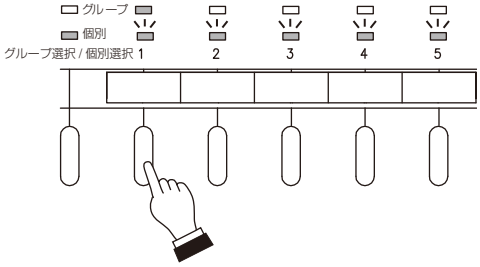
個別選択表示灯が点灯し、個別出力表示灯の 2 ～ 5 が点滅します。

※ 初回の登録時は、工場出荷時設定により、グループ放送系統の 1 に個別放送系統の 1 が設定されているので、個別出力表示灯の 1 は点灯します。



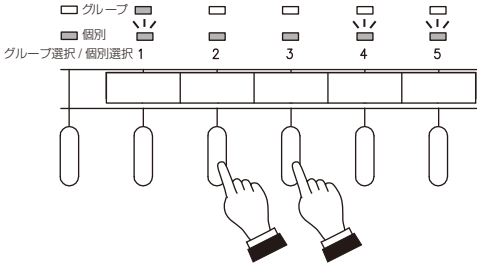
4 出力選択スイッチの 1 を押して、個別放送系統の 1 を解除する。

個別選択表示灯の 1 が点滅します。



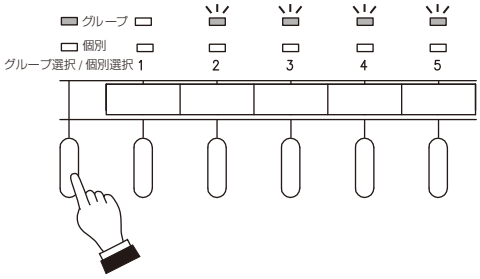
5 出力選択スイッチの 2 と 3 を押す。

個別出力表示灯の 2 と 3 が点灯します。



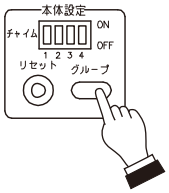
6 グループ選択／個別選択スイッチを押す。

グループ選択表示灯が点灯し、個別選択表示灯の 1 ～ 5 が消灯します。
グループ放送系統の 1 の設定が完了し、グループ出力表示灯の 1 が消灯します。



7 グループ設定スイッチをもう一度押す。

登録が完了します。



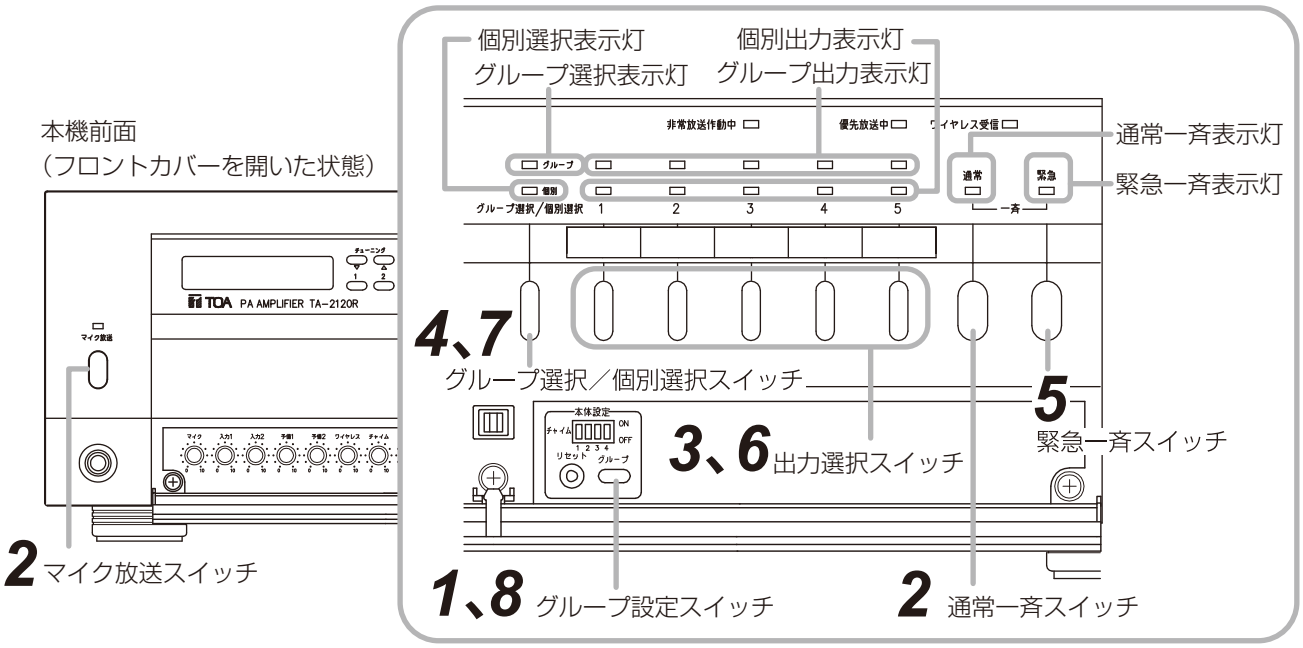
登録の確認をしたいとき：
出力選択スイッチの 1 を押すと、グループ選択表示灯が点灯し、同時に個別選択表示灯の 2 と 3 が点灯すれば、正確に登録できたことが確認できます。

■ 制御入力による放送系統制御の設定

本機は出荷状態で、優先１（入力 1)、優先２（入力 2)、電話ページング、一斉リモートの各制御端子に制御信号（無電圧メイク接点）が入ると緊急一斉放送の状態となるように設定されています。
この設定を変更して各制御入力別に放送系統をグループの１～５または通常一斉に設定することができます。

ご注意
個別放送系統に設定することはできません。
個別放送系統に設定をしたい場合は、グループ設定で個別放送系統になるよう割り当ててください。（☞ P. 18）
（例）グループの１に、個別放送系統の１だけを設定する。

● 放送系統制御の設定変更のしかた



説明に出てくる、各表示灯の図の見方は以下のとおりです。

消灯　点灯　点滅

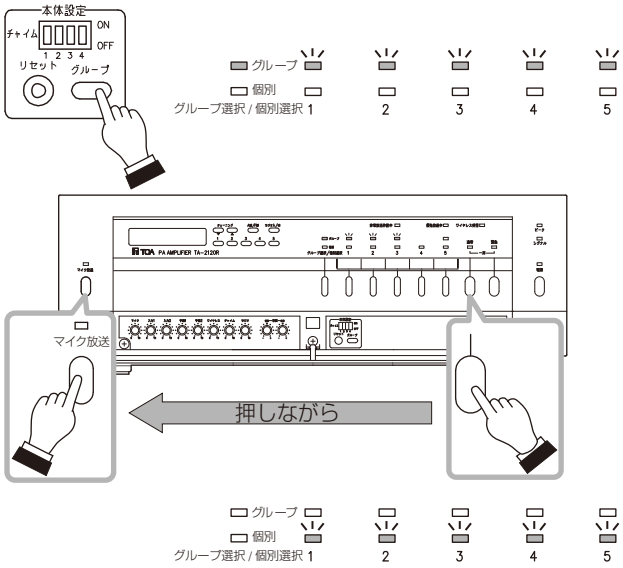
1 本機前面のフロントカバー内部にある、グループ設定スイッチを押す。

グループ選択表示灯が点灯し、グループ出力表示灯の１～５が点滅します。

2 通常一斉スイッチを押しながら、マイク放送スイッチを押す。

ご注意
通常一斉スイッチを押した状態で、マイク放送スイッチを押さないと設定できません。

グループ選択表示灯とグループ出力表示灯の１～５が消灯し、個別出力表示灯の１～５が点滅します。

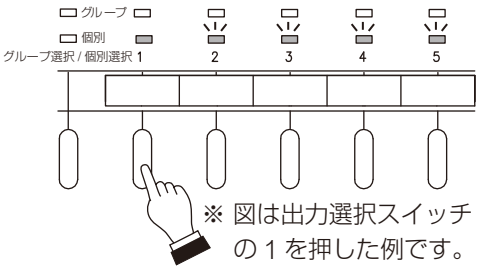


3 出力選択スイッチの 1、2、4、または 5 を押す。

選択した個別出力表示灯が点灯し、その他の個別出力表示灯は点滅します。

出力選択スイッチの 1、2、4、5 はそれぞれ以下の制御入力に対応しています。

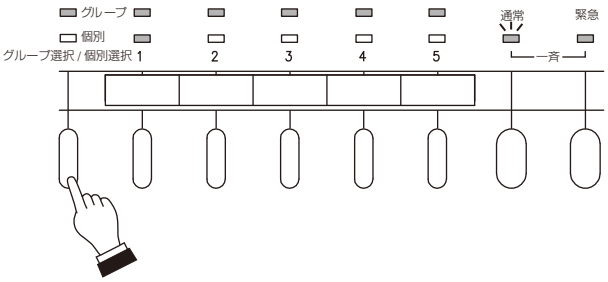
出力選択スイッチ	制御入力
1	優先 1（入力 1）
2	優先 2（入力 2）
4	電話ページング
5	一斉リモート



※ 図は出力選択スイッチの 1 を押した例です。

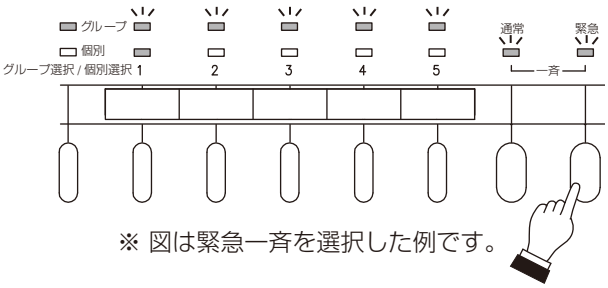
4 グループ選択／個別選択スイッチを押す。

設定されているグループまたは、一斉の表示灯が点灯します。
設定の確認のみの場合は、**手順 7** へ進んでください。



5 緊急一斉、通常一斉に設定されている場合は、緊急一斉または通常一斉のスイッチを押す。

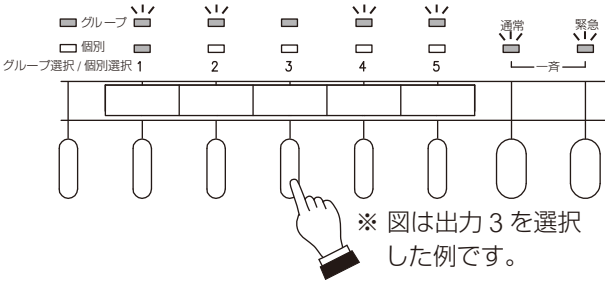
緊急一斉表示灯、通常一斉表示灯、グループ出力表示灯の 1 ～ 5 のすべてが点滅し、入力待ち状態になります。
グループに設定されている場合は、何もせずに**手順 6** に進んでください。



※ 図は緊急一斉を選択した例です。

6 出力選択スイッチの 1 ～ 5 または通常一斉スイッチを押して、出力系統を選択する。

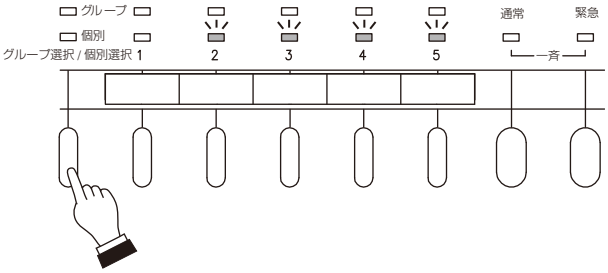
選択した出力系統のグループ出力表示灯が点灯します。



※ 図は出力 3 を選択した例です。

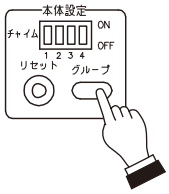
7 グループ選択／個別選択スイッチを押す。

手順 3 で選択した個別出力表示灯が消灯し、その他の個別出力表示灯が点滅します。
続けて他の制御入力の放送系統制御設定を変更する場合は、**手順 3 ～ 7** を繰り返してください。



8 フロントカバー内部のグループ設定スイッチを押す。

設定が完了し、通常の放送状態に戻ります。



メ モ

設定した放送系統制御の設定内容は、下記の状態でも保存されています。
- 電源スイッチを切ったとき
- 電源ブレーカーを切ったとき

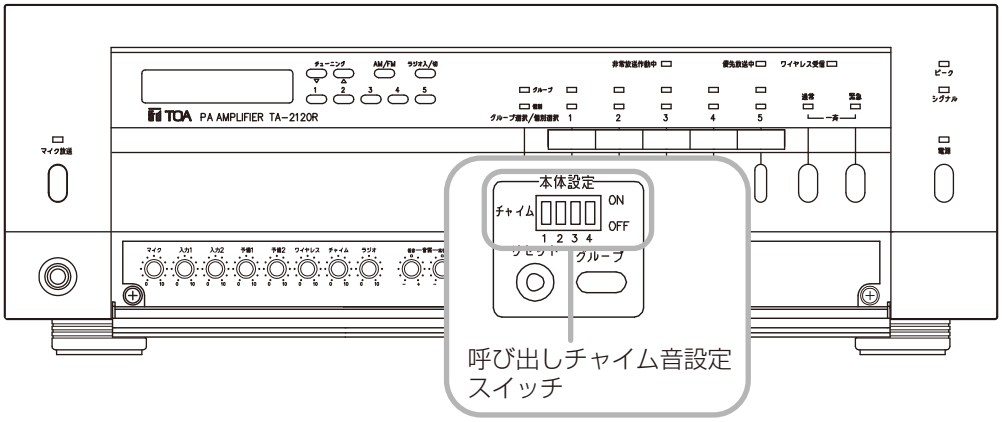
■ 呼び出しチャイム音設定のしかた

本機前面のフロントカバー内部の呼び出しチャイム音設定スイッチで、以下の設定を行います。

- 前面のマイク入力、後面のページングマイク入力、後面の一斉リモート端子から放送するときの呼び出しチャイム音の入／切の設定
- チャイム音（4 種類）の設定
- 電話ページング開始時の 2 音チャイムの入／切の設定

工場出荷時には、呼び出しチャイムは「上り下り 4 音チャイム」、電話ページングチャイムは「切」に、設定されています。

本機前面（フロントカバーを開いた状態）



スイッチ 1　　：チャイム音を鳴らす（ON）または鳴らさない（OFF）を選択します。
スイッチ 2、3：ON、OFF でチャイムの種類を選択します。（下の表参照）
スイッチ 4　　：電話ページング用です。ON で電話ページング開始時に 2 音チャイムを鳴らします。

スイッチ 2	スイッチ 3	音色	詳細
ON	ON	4 音（上、下）	マイク放送開始時に上り 4 音チャイムを鳴らします。 マイク放送終了時に下り 4 音チャイムを鳴らします。
ON	OFF	4 音（上のみ）	マイク放送開始時に上り 4 音チャイムを鳴らします。
OFF	ON	2 音	マイク放送開始時に 2 音チャイムを鳴らします。
OFF	OFF	1 音	マイク放送開始時に 1 音チャイムを鳴らします。

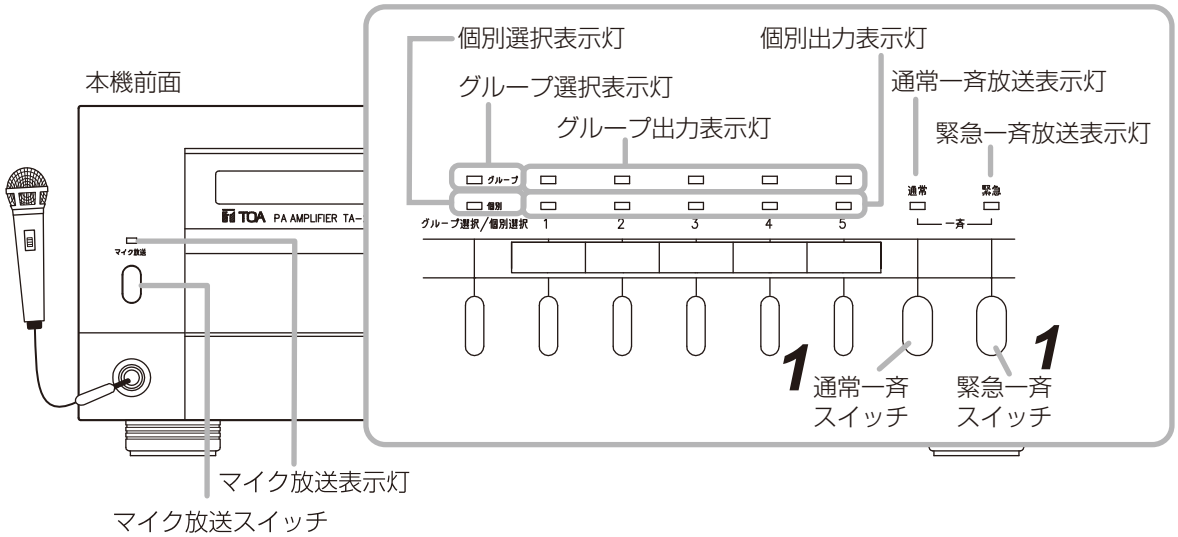
[設定の例]

- マイク放送開始時に 2 音のチャイム音（放送終了時にはチャイムなし）を選択するときは、「スイッチ 1 → ON、スイッチ 2 → OFF、スイッチ 3 → ON」と設定します。
- 電話ページング開始時に 2 音チャイム音を鳴らすときは、「スイッチ 4 → ON」に設定します。

操作のしかた

■ マイクを使って一斉放送をする

本機前面のマイク入力ジャックに接続したマイクを使って一斉放送をする手順を説明します。



1 通常一斉放送をする場合は通常一斉スイッチを、緊急一斉放送をする場合は緊急一斉スイッチを押す。

押したスイッチに応じて、通常一斉表示灯または緊急一斉表示灯が点灯します。

- グループ選択表示灯が点灯している場合：グループ出力表示灯と個別出力表示灯のすべてが点灯します。
- 個別選択表示灯が点灯している場合　　：個別出力表示灯のすべてが点灯します。

メ モ

緊急一斉スイッチを押した場合は、各スピーカーのアッテネーターの状態にかかわらず最大音量で放送されます。（アッテネーターが「切」の状態になっていても放送されます。）

2 マイク放送スイッチを押す。

- 呼び出しチャイムが設定されているとき：呼び出しチャイムが鳴り、マイク放送表示灯は点滅します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき　　：マイク放送表示灯はすぐに点灯します。

呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

3 マイク放送表示灯が点灯になったら、マイクから放送する。

マイクの音量は、本機前面のフロントカバー内部にあるマイク音量つまみで調節してください。（☞ P. 14）

4 放送が終わったら、マイク放送スイッチをもう一度押す。

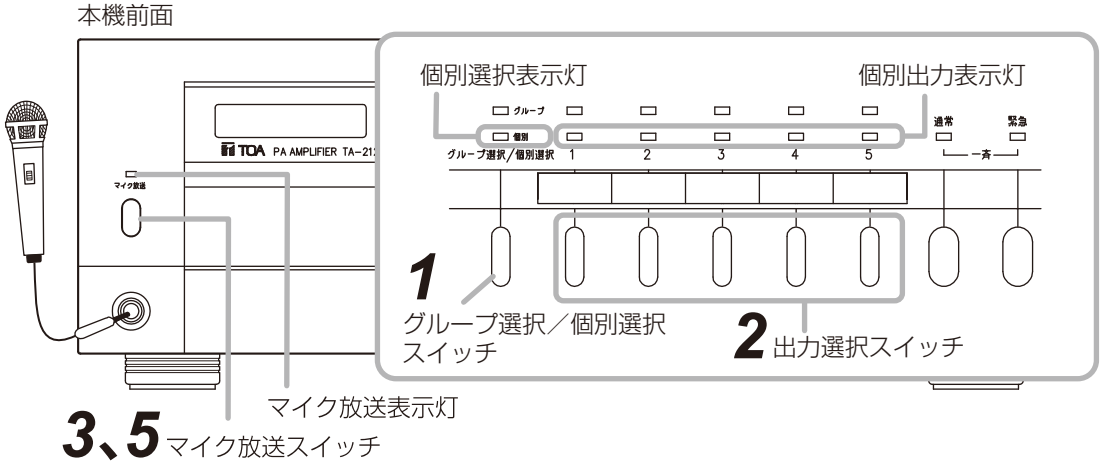
- 上り下り 4 音チャイムが設定されているとき：
  下り 4 音チャイムが鳴り、マイク放送表示灯が点滅します。
  チャイムが鳴り終わると、マイク放送表示灯は消灯し、マイク放送が終了します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき、または他のチャイム音に設定されているとき：
  マイク放送表示灯はすぐに消灯し、マイク放送が終了します。

ご注意

マイク放送スイッチを切り忘れると、マイクより低い優先順位の放送ができなくなります。

■ マイクを使って個別放送をする

本機前面のマイク入力ジャックに接続したマイクを使って個別放送をする手順を説明します。



1 グループ選択／個別選択スイッチを押して、個別選択表示灯を点灯させる。

2 放送したい放送系統の出力選択スイッチを押す。

選択した放送系統の個別出力表示灯が点灯していることを確認します。

3 マイク放送スイッチを押す。

- 呼び出しチャイムが設定されているとき：呼び出しチャイムが鳴り、マイク放送表示灯は点滅します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき　　：マイク放送表示灯はすぐに点灯します。

呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

4 マイク放送表示灯が点灯になったら、マイクから放送する。

マイクの音量は、本機前面のフロントカバー内部にあるマイク音量つまみで調節してください。（☞ P. 14）

5 放送が終わったら、マイク放送スイッチをもう一度押す。

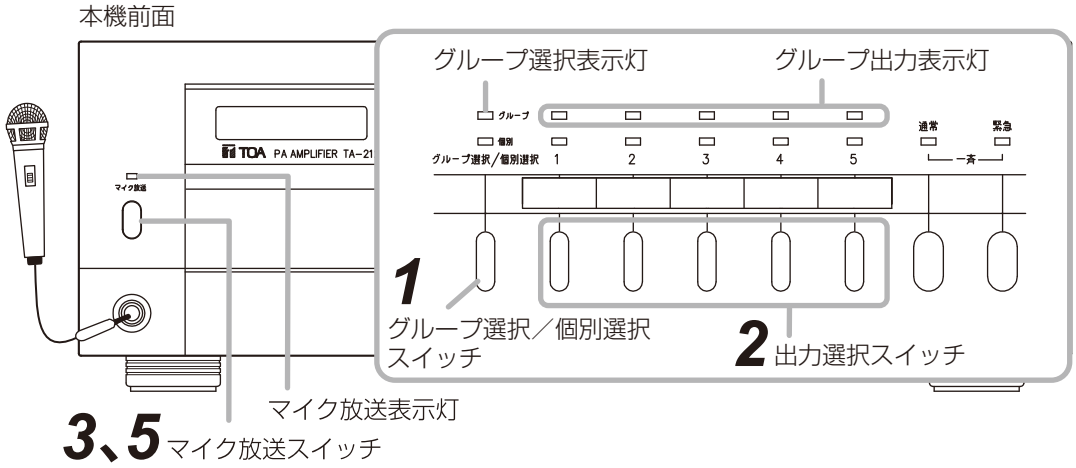
- 上り下り 4 音チャイムが設定されているとき：
  下り 4 音チャイムが鳴り、マイク放送表示灯が点滅します。
  チャイムが鳴り終わると、マイク放送表示灯は消灯し、マイク放送が終了します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき、または他のチャイム音に設定されているとき：
  マイク放送表示灯はすぐに消灯し、マイク放送が終了します。

ご注意

マイク放送スイッチを切り忘れると、マイクより低い優先順位の放送ができなくなります。

■ マイクを使ってグループ放送をする

※ あらかじめ、グループ登録をしておく必要があります。登録のしかたは、P. 16 をお読みください。



1 **グループ選択／個別選択スイッチを押して、グループ選択表示灯を点灯させる。**

2 **放送したいグループ放送の出力選択スイッチを押す。**

3 **マイク放送スイッチを押す。**

- 呼び出しチャイムが設定されているとき：呼び出しチャイムが鳴り、マイク放送表示灯は点滅します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき　　：マイク放送表示灯はすぐに点灯します。

呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

4 **マイク放送表示灯が点灯になったら、マイクから放送する。**

マイクの音量は、本機前面のフロントカバー内部にあるマイク音量つまみで調節してください。（☞ P. 14）

5 **放送が終わったら、マイク放送スイッチをもう一度押す。**

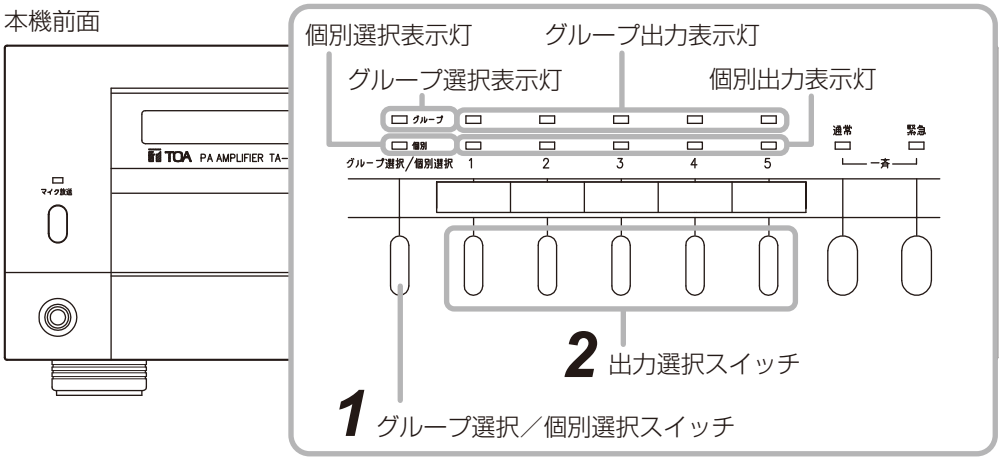
- 上り下り 4 音チャイムが設定されているとき：
  下り 4 音チャイムが鳴り、マイク放送表示灯が点滅します。
  チャイムが鳴り終わると、マイク放送表示灯は消灯し、マイク放送が終了します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき、または他のチャイム音に設定されているとき：
  マイク放送表示灯はすぐに消灯し、マイク放送が終了します。

ご注意

マイク放送スイッチを切り忘れると、マイクより低い優先順位の放送ができなくなります。

■ CD プレーヤーなどで放送する

CD プレーヤーなどの接続方法は、P. 30「設置と接続」をお読みください。



1 グループ選択／個別選択スイッチを押して、グループ放送か個別放送を選択する。

選択状態に応じて、グループ選択表示灯または個別選択表示灯が点灯します。

2 放送したい放送系統の出力選択スイッチを押す。

選択状態に応じて、グループ出力表示灯・個別出力表示灯が点灯します。

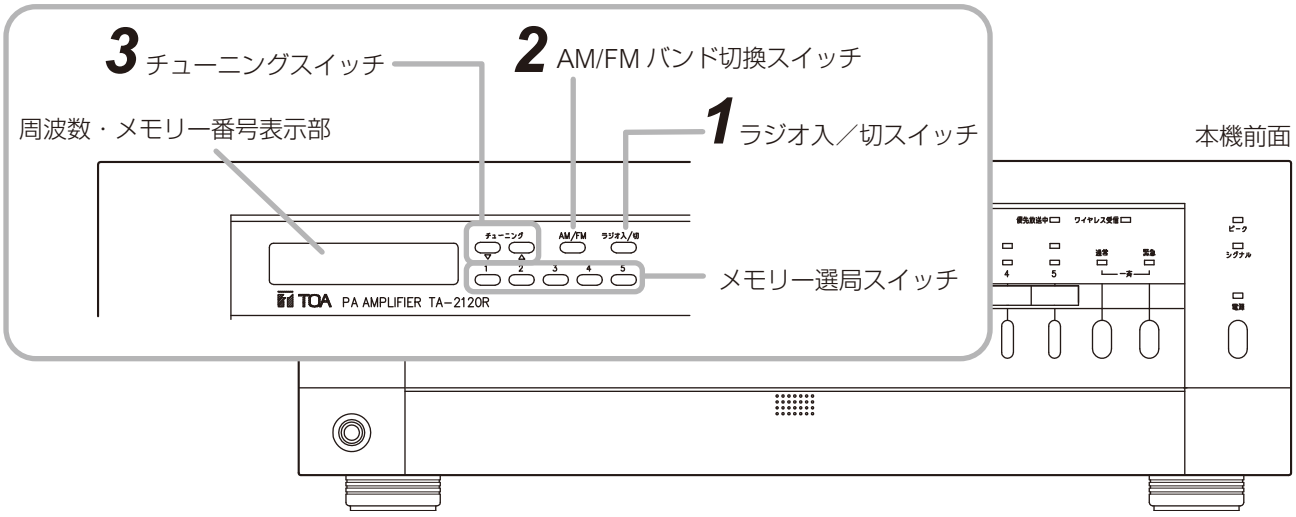
3 CD プレーヤーを動作させる。

CD の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にある、CD を接続したジャックの音量つまみで行います。（☞ P. 14）

メ モ

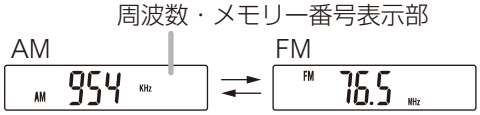
CD プレーヤーが予備入力に接続されているときは、優先度の高い放送によってミュートされていることがあります。その場合は、優先度の高い放送を終了するか、優先度の高い放送が終了するのをお待ちください。

■ ラジオチューナーの周波数の合わせかた
（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）



1 ラジオ入／切スイッチを押す。
周波数・メモリー番号表示部が点灯します。

2 AM/FM バンド切換スイッチで AM 放送または FM 放送を選択する。
スイッチを押すたびに、AM と FM が切り換わります。



3 手動または自動で聞きたい放送局の周波数に合わせる。

- 手動で合わせる場合
  チューニングスイッチ（▼スイッチまたは▲スイッチ）を押します。
  ▼スイッチ：受信周波数が低くなります。
  ▲スイッチ：受信周波数が高くなります。
- 自動で合わせる場合
  チューニングスイッチを 2 秒以上押すと、以下のステップで自動的に周波数が変わり、放送を受信した周波数で止まります。
  AM：9 kHz
  FM：0.1 MHz
  周波数が止まった状態で、もう一度チューニングスイッチ（▼スイッチまたは▲スイッチ）を 2 秒以上押すと、次に受信できる周波数を検索します。

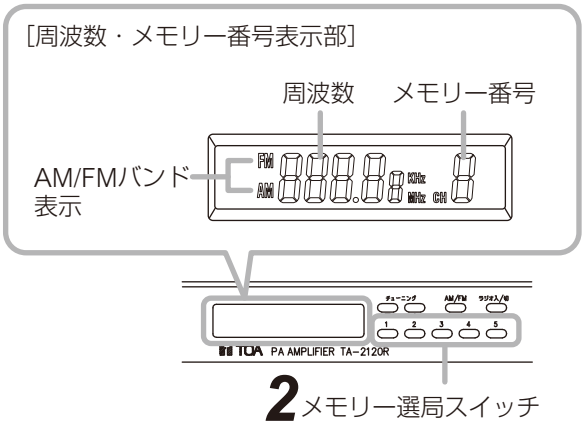
[放送局のメモリー登録のしかた]

AM 放送 5 局､FM 放送 5 局の周波数（放送局）をメモリー選局スイッチに登録することができます。

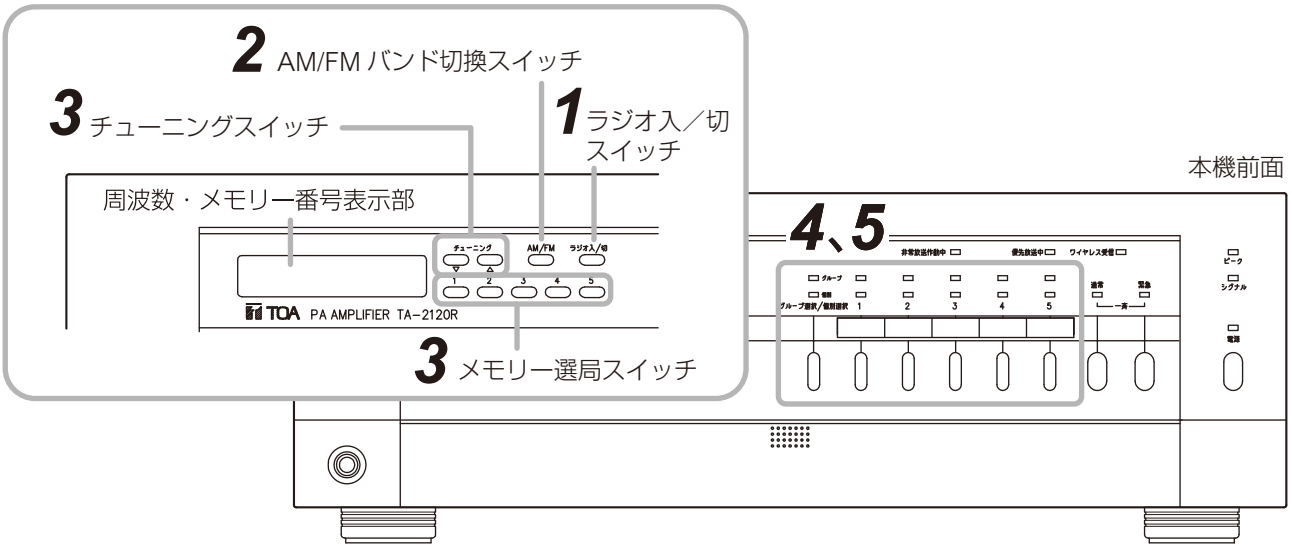
1 登録したい周波数に合わせる。

2 登録したい番号のメモリー選局スイッチを 1.5 秒以上押す。
表示部に登録されたメモリー選局スイッチの番号が表示されます。

登録すると、次からはメモリー選局スイッチを押すだけで、登録した周波数（放送局）を呼び出すことができます。



■ ラジオを受信して放送する（TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R のみ）



1 ラジオ入／切スイッチを押す。

周波数／メモリー番号表示部に、前回電源を切る直前に受信していた放送局の周波数などが表示されます。

2 AM/FM バンド切換スイッチで AM 放送または FM 放送を選択する。

スイッチを押すたびに、AM と FM が切り換わります。

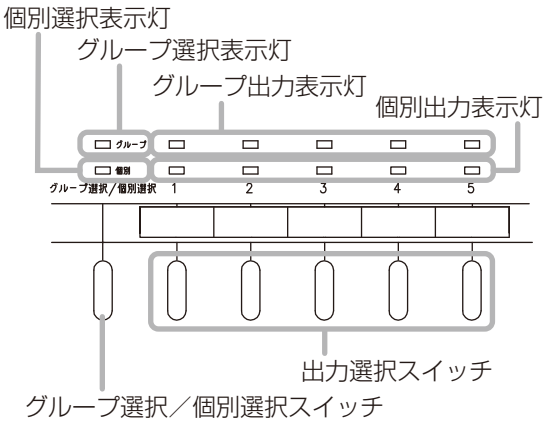
3 放送したい放送局の周波数に合わせる。

すでにメモリー登録をしている場合は、放送したい放送局のメモリー選局スイッチを押します。
メモリー登録をしていない場合は、手動または自動で周波数を合わせてください。（☞ P. 25）

4 グループ選択／個別選択スイッチを押して、放送したいグループまたは個別出力の放送系統の出力選択スイッチを押す。

選択した放送系統の表示灯（グループ出力表示灯または個別出力表示灯）が点灯していることを確認します。

ラジオの音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるラジオ音量つまみで行います。（☞ P. 14）



5 放送が終わったら、本機前面のラジオ入／切スイッチを押して、ラジオを切る。

ラジオが「入」の状態で本機の電源を「切」にし、再度本機の電源を「入」にするとラジオは「入」になり、電源を「切」直前に受信していた放送局の受信状態になります。

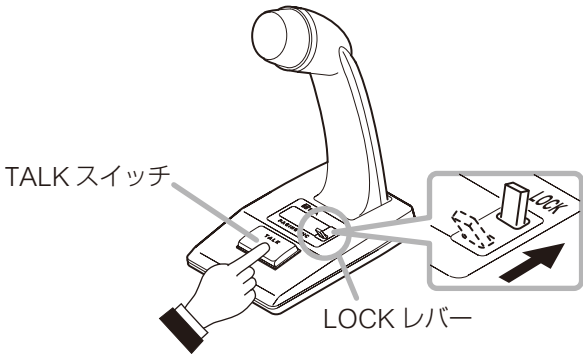
■ リモート機能付きのマイク（別売品）で放送する

本機後面のページングマイク入力コネクターにリモート機能付卓上型マイクを接続使用した例です。リモート機能付接話型マイクやリモート機能付ハンド型ダイナミックマイクも使用できます。

1 卓上型マイクの TALK スイッチを押し続けるか、レバーを「LOCK」にする。

本機の電源が入ります。

- 呼び出しチャイムが設定されているとき：
  呼び出しチャイムが鳴り、マイク放送表示灯は点滅します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき：
  マイク放送表示灯はすぐに点灯します。



呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

2 マイク放送表示灯が点灯になったら、マイクから放送する。

TALK スイッチを押している場合は、放送が終了するまで押し続けてください。

3 放送が終わったら、TALK スイッチを離すか、レバーを元の位置に戻す。

- 上り下り 4 音チャイムが設定されているとき：
  下り 4 音チャイムが鳴り、マイク放送表示灯が点滅します。
  チャイムが鳴り終わると、マイク放送表示灯は消灯し、マイク放送が終了します。
- 呼び出しチャイムが「切」のとき、または他のチャイム音に設定されているとき：
  マイク放送表示灯はすぐに消灯し、マイク放送が終了します。

ご注意

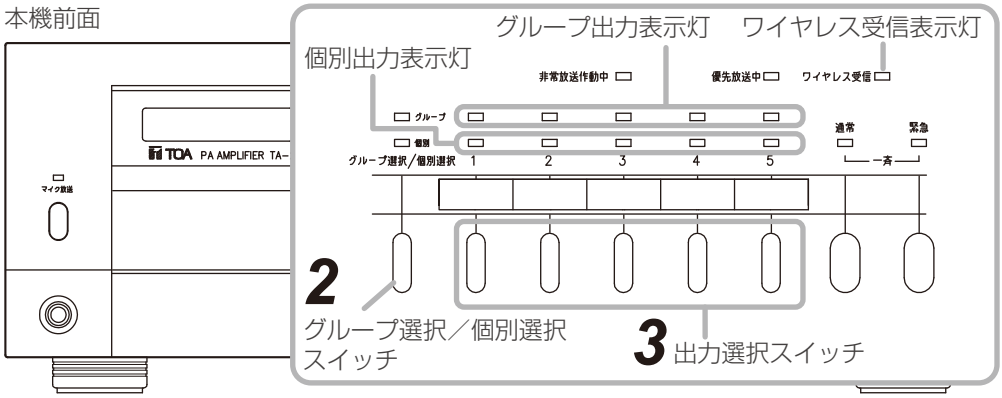
レバーを元の位置に戻すのを忘れると、マイクより低い優先順位の放送ができなくなります。

ご注意

リモート機能付卓上型マイクのレバーを「LOCK」にしたまま、本機の電源を「切」から「入」にした場合は、マイクからの放送は継続できません。
一度「LOCK」から元の位置に戻し、再度「LOCK」に動かして、マイク放送表示灯が点灯になってからマイク放送をしてください。

■ ワイヤレスマイクで放送する

- ワイヤレスマイクをご利用になるときは、800MHz 帯のワイヤレスチューナーユニット WTU-1710（別売品）とワイヤレスアンテナ（別売品）を必ずご使用ください。
- ワイヤレスマイクは、ワイヤレスチューナーユニットと同じチャンネル呼称のものをお選びください。
- ワイヤレスアンテナとワイヤレスマイクの距離は 3 m から 20 m 程度で使用してください。3 m 以内で使用すると雑音を発生したり、混信の原因になることがあります。



1 ワイヤレスマイクのスイッチを入れる。

ワイヤレスマイクの電波を受信すると、本機のワイヤレス受信表示灯が点灯します。

2 グループ選択／個別選択スイッチを押して、グループまたは個別を選択する。

3 放送したい放送系統の出力選択スイッチを押す。

選択した放送系統の表示灯が点灯します。

4 ワイヤレスマイクから放送する。

音量は、本機前面のフロントカバー内部にあるワイヤレス音量つまみで調節してください。（☞ P. 14）

5 放送が終わったら、ワイヤレスマイクのスイッチを切る。

［受信周波数一覧表］

グループ	チャンネル	呼称	周波数（MHz）
1	1	B11	806.125
	2	B12	806.375
	3	B13	807.125
	4	B14	807.750
	5	B15	809.000
	6	B16	809.500
2	1	B21	806.250
	2	B22	806.500
	3	B23	807.000
	4	B24	807.875
	5	B25	808.500
	6	B26	808.875
3	1	B31	806.625
	2	B32	806.875
	3	B33	807.375
	4	B34	808.250
	5	B35	808.625
	6	B36	809.250
4	1	B41	806.750
	2	B42	807.500
	3	B43	808.000
	4	B44	809.125
	5	B45	809.375
	6	B46	809.750
5	1	B51	807.625
	2	B52	808.125
	3	B53	808.375
	4	B54	808.750
	5	B55	809.625
6	1	B61	807.250

■ 放送の優先順位

本アンプは制御入力により、放送に優先順位がついています。優先順位の高い放送が始まると、優先順位の低い放送はカット（またはミュート）されます。（優先順位 1 ～ 4 の放送時には優先放送中表示灯が点灯します。）なお、優先順位の同じ入力は各々ミキシングされ、同時に放送されます。ただし、優先順位 5 は後押し優先となります。また、ワイヤレスマイクは優先順位 3 ～ 5、7 とミキシングされ、優先順位 8 の放送をミューートします。

高い ▲ 優先度 ▼ 低い

	放送	音声入力	制御入力	表示灯＊1	説明
優先順位 1（ミキシング）	優先 1（入力 1 切換スイッチを優先 1 に）	入力 1	入力 1 制御	点灯	他の放送によりカットされません。
	優先 2（入力 1 切換スイッチを優先 2 に）	入力 2	入力 2 制御	点灯	
優先順位 2	ウェストミンスター	使用しません。			
優先順位 3	電話ページング	電話ページング	電話ページング	点灯	高優先順位入力によりカットされ、低優先順位入力をカットします。 ただし、優先順位 8 はミュートします。＊2 ワイヤレスマイクはミキシングされます。
優先順位 4	単局リモートマイク	リモートマイク	一斉リモート	点灯	
優先順位 5（後押し優先）	5 局リモートマイク	リモートマイク	通信	消灯	
	ページングマイク（ホーンプラグ付マイク）	マイク（前面）	マイク放送スイッチ	消灯	
	ページングマイク（DIN プラグ付マイク）	マイク（後面 5P DIN）	マイクのリモートスイッチ	消灯	
優先順位 6（ミキシング）	ライン 1（入力 1 切換スイッチをライン 1 に）	入力 1	入力 1 制御	消灯	優先順位 5 以上によりカットされ、優先順位 8 以下をカットします。
	ライン 2（入力 2 切換スイッチをライン 2 に）	入力 2	入力 2 制御	消灯	
優先順位 7（ミキシング）	マイク 1（入力 1 切換スイッチをマイク 1 に）	入力 1	音声信号	消灯	優先順位 6 以上によりカットされ、優先順位 8 をミュートします。＊2
	マイク 2（入力 2 切換スイッチをマイク 2 に）	入力 2	音声信号	消灯	
優先順位 8（ミキシング）	ラジオ（TA-2030R、2060R、2120R のみ）	（内蔵ラジオ）	なし	消灯	優先順位 1、2、6 によりカットされ、優先順位 3 ～ 5、ワイヤレスマイクによりミュートされます。＊2
	予備 1	予備 1	なし	消灯	
	予備 2	予備 2	なし	消灯	
	ワイヤレスマイク		音声信号	消灯	優先順位 1、2、6 によりカットされ、優先順位 8 をミュートします。＊2 優先順位 3 ～ 5、7 とミキシングされます。

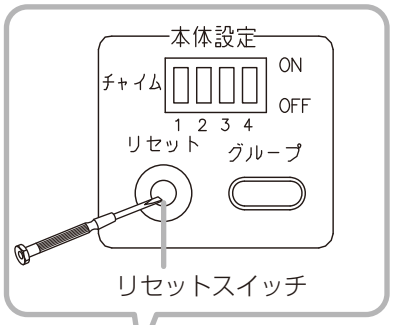
＊1 表内の表示灯とは優先放送中表示灯のことです。

＊2 ミュートされると、ミュート量調節器の設定値まで音量が下がります。

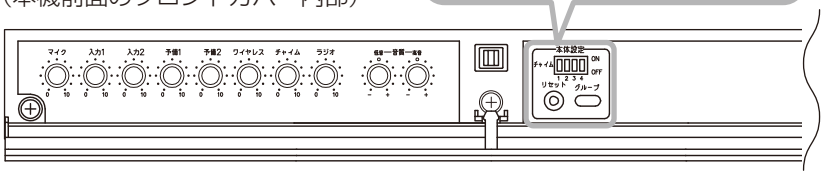
■ リセットのしかた

本機が誤作動したり、どのスイッチも受け付けなくなった場合などに、リセットスイッチで、内部コンピューター（CPU）をリセットすることができます。
リセットスイッチは本機前面のフロントカバー内部にあります。

手順：先の細いものでリセットスイッチを押す。



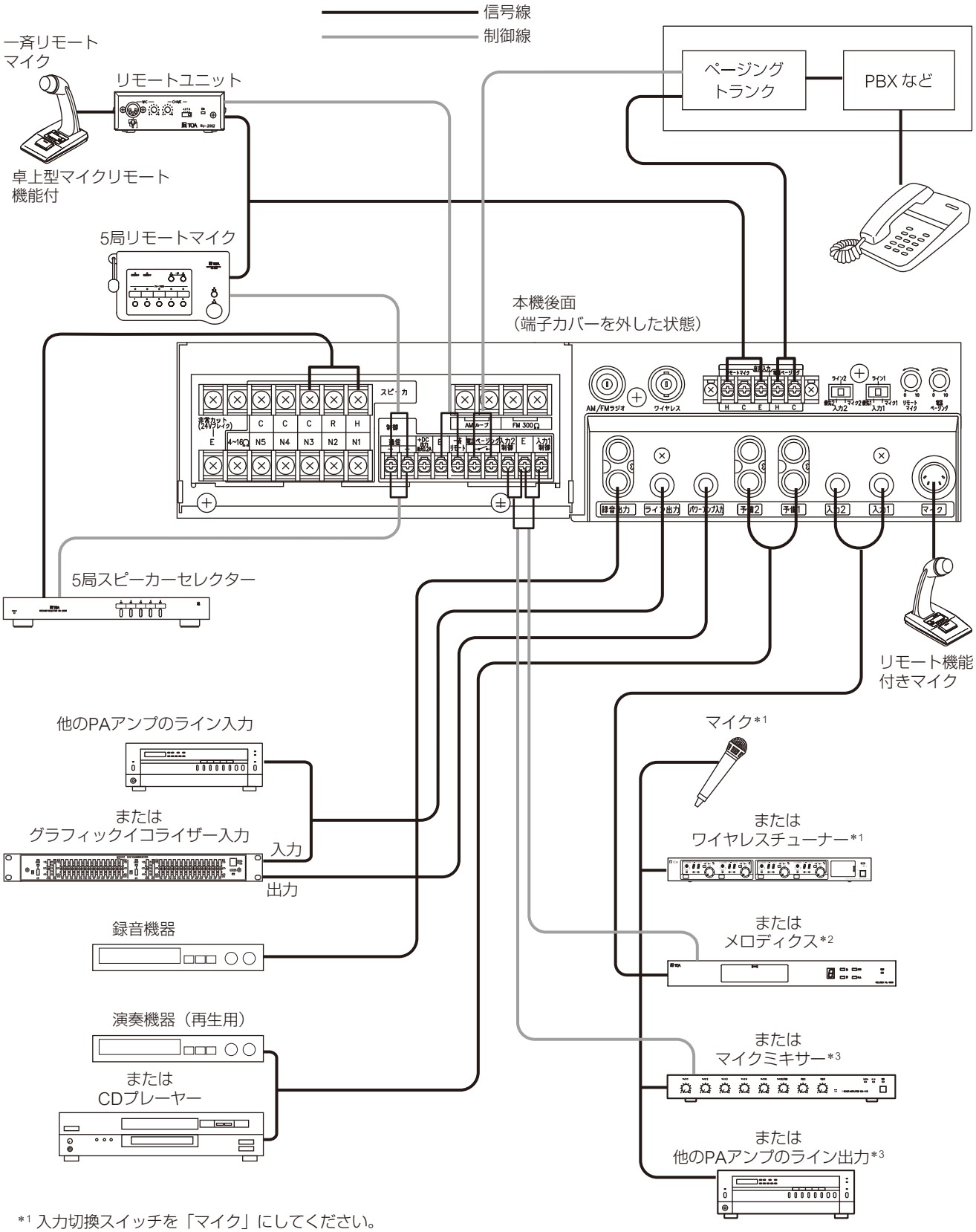
（本機前面のフロントカバー内部）



設置と接続

■ 入出力機器の接続

● 機器接続例



*1 入力切換スイッチを「マイク」にしてください。
*2 入力切換スイッチを「優先」にしてください。
*3 入力切換スイッチを「ライン」にしてください。

● 各入出力機器の仕様

入出力名称		仕様	接続できる機器
前面マイク入力		–66 dB*1、600 Ω、不平衡	ローインピーダンスのマイク
ページングマイク入力		–66 dB*1、600 Ω、不平衡	リモート機能付きマイク（5P DINソケット）
入力1、2（切換式）	マイク 1、マイク 2	–66 dB*1、600 Ω、不平衡*2	ローインピーダンスのマイク
	ライン 1、ライン 2	–12 dB*1、600 Ω、不平衡*2	マイクミキサー、演奏機器
	優先 1、優先 2	–12 dB*1、600 Ω、不平衡*2	メロディクス、デジタルアナウンスマシン
予備 1、予備 2 入力		–12 dB*1、5 kΩ、不平衡	演奏機器、CD プレーヤー
リモートマイク入力		–12 dB*1、600 Ω、平衡	5 局リモートマイク、リモートユニット
電話ページング入力		–12 dB*1、5 kΩ、不平衡	交換機のページングトランク
パワーアンプ入力		0 dB*1、10 kΩ、不平衡	グラフィックイコライザーなど
録音出力		0 dB*1、600 Ω、不平衡	録音機器
ライン出力		0 dB*1、600 Ω、不平衡*2	パワーアンプなど

*1 0 dB = 1 V
*2 別売の平衡型トランス IT-450 を使用して平衡型に変更できます。詳しくは、販売店にご相談ください。

ご注意

前面マイク入力とページングマイク入力は同時には使用できません。両方にマイクを接続した場合は、前面マイク入力が優先され、リモート機能付きマイクでの放送はできません。

● 接続できる機器

本機には放送を聞きやすくするとともに、スイッチ操作をより軽減するために、放送入力と制御端子の組み合わせにより、本機の電源リモート、放送系統の制御、呼び出しチャイムの起動などがあらかじめ設定されています。
下記の表と放送の優先順位の表（P. 29）を参考に、接続する機器を選択してください。

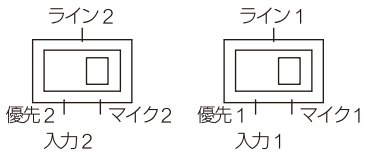
放送入力	制御端子		接続できる機器	電源リモート	放送系統制御	呼び出しチャイム起動
入力 1、入力 2	入力 1 制御	優先 1、優先 2	メロディクス、デジタルアナウンスマシン	○	緊急一斉	×
入力 1、入力 2	入力 2 制御	ライン 1、ライン 2	マイクミキサーアンプ、演奏機器	○	本体設定	×
入力 1、入力 2	ー	マイク 1、マイク 2	ローインピーダンスマイク	×	本体設定	×
電話ページング入力	電話ページング		交換機のページングトランク	○	緊急一斉	2 音チャイム
リモートマイク入力	一斉リモート		リモートユニット	○	緊急一斉	○
リモートマイク入力	通信		5 局リモートマイク	○	5 局リモートマイクで設定	○
前面マイク入力	マイク放送スイッチ		ローインピーダンスマイク	×	本体設定	○
後面ページングマイク入力	ページングマイク入力		リモート機能付きマイク	○	本体設定	○
予備入力 1、2	ー		CD プレーヤーなど	×	本体設定	×

■ 入力 1、2 の切り換え

入力 1、2 は接続する機器とその優先順位に応じて、後面の入力切換スイッチにより、以下のいずれかを選択して使用します。

入力 1：マイク 1 ／ライン 1 ／優先 1
入力 2：マイク 2 ／ライン 2 ／優先 2

入力切換スイッチ



（工場出荷時の設定：マイク 1、マイク 2）

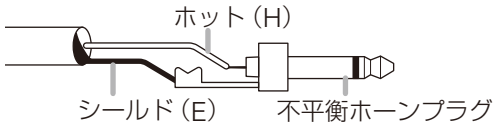
マイク 1、2 に切り換えたとき	ローインピーダンスのマイクを接続します。 放送系統は、出力選択スイッチを押して選択してください。
ライン 1、2 に切り換えたとき	マイクミキサーなどのライン出力を接続します。 制御入力端子 1、2 をメイクすることにより、電源リモートができます。 放送系統は、出力選択スイッチを押して選択してください。
優先 1、2 に切り換えたとき	メロディクスなどを接続します。 制御入力端子 1、2 をメロディクスなどのリモート出力で制御することにより、電源リモートと緊急一斉スイッチの「入／切」ができます。

■ マイク入力 1、2 の接続のしかた

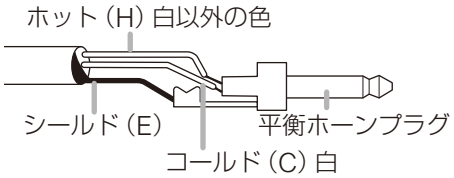
入力 1、2 がマイク 1、2 に設定されていることを確認してください。
入力ジャックは ø6.3 mm の平衡型ホーンジャックですが、不平衡プラグもそのままで接続できます。
マイク回路を平衡型にして 1 次側と 2 次側を絶縁したいときは、別売の平衡型トランス IT-450 をご使用ください。詳しくは販売店にご相談ください。
マイクはローインピーダンスのものをご使用ください。

適	ローインピーダンスのマイク	インピーダンス　約 200 ～ 600 Ω
不適	ハイインピーダンスのマイク	インピーダンス　約 10 ～ 50 kΩ

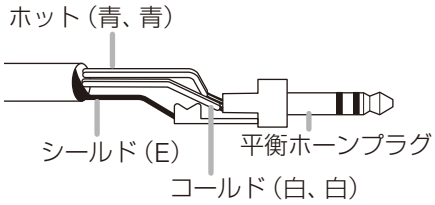
● 1 心シールド線（MVVS など）の接続



● 2 心シールド線（MVVS など）の接続



● 4 心シールド線（MVVS など）の接続



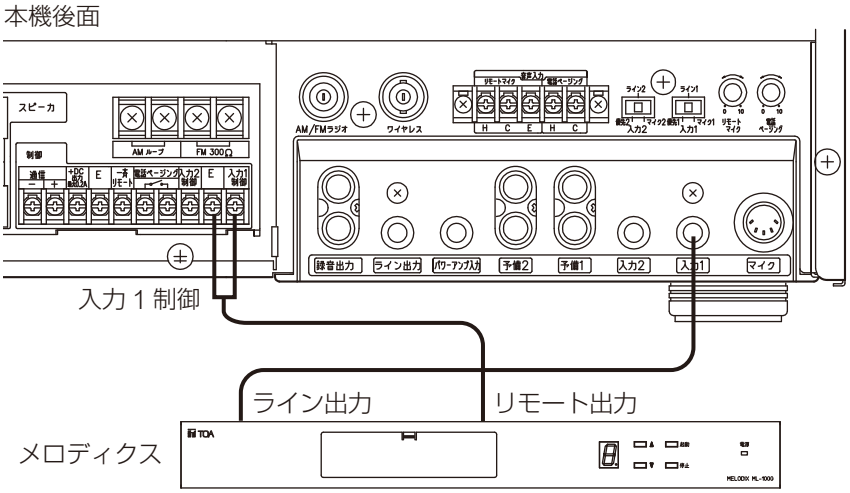
調光設備など外部からのノイズが多い場合には、クワッドよりの 4 心シールド線をご利用ください。

マイクの延長距離は下記を目安として接続してください。

つなぎとインピーダンス	ケーブルの長さ
平衡型　600 Ω	約 80 m 以内
不平衡型　600 Ω	約 20 m 以内

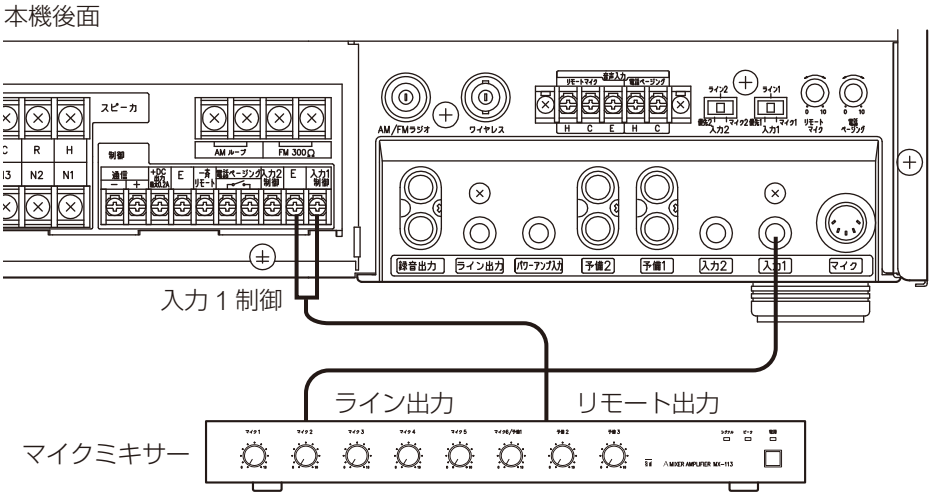
■ 優先入力 1、2 の接続のしかた

入力 1、2 が優先 1、2 に設定されていることを確認してください。
メロディクスのリモート出力や、デジタルアナウンスマシンのビジー出力を制御入力端子の入力 1 制御、入力 2 制御に接続することにより、本機の電源リモートと緊急一斉スイッチの「入／切」ができます。
このとき、優先 1、2 に接続されたメロディクスなどの放送は、放送が終了するまで最優先となり、他の放送は自動的にカットされます。



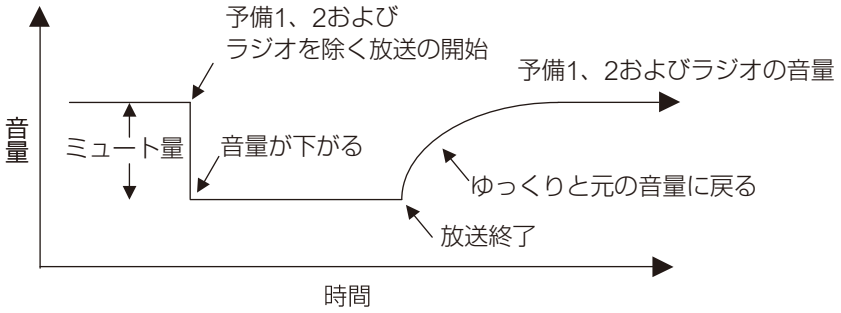
■ ライン入力 1、2 の接続のしかた

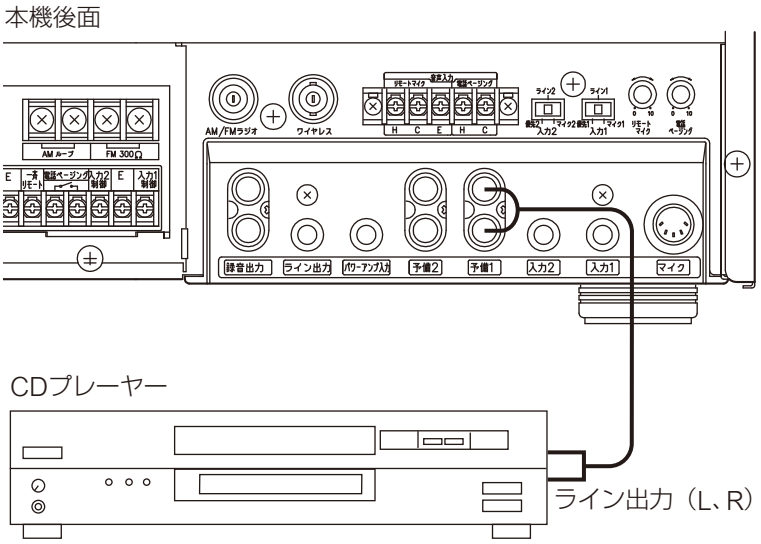
入力 1、2 がライン 1、2 に設定されていることを確認してください。
マイクミキサーのリモートスイッチ端子などを、本機の制御入力端子の入力 1 制御、入力 2 制御に接続することにより、本機の電源リモートができます。このとき、ライン 1、2 に接続されたマイクミキサーなどの放送は、制御端子がメイクされる前に選択されていた放送系統に放送されます。
マイクミキサーのリモートスイッチ端子などを、本機の制御入力端子に接続しないで使用するときは、本機の電源スイッチと出力選択スイッチを手動で操作して放送してください。



■ 予備入力 1、2 の接続のしかた

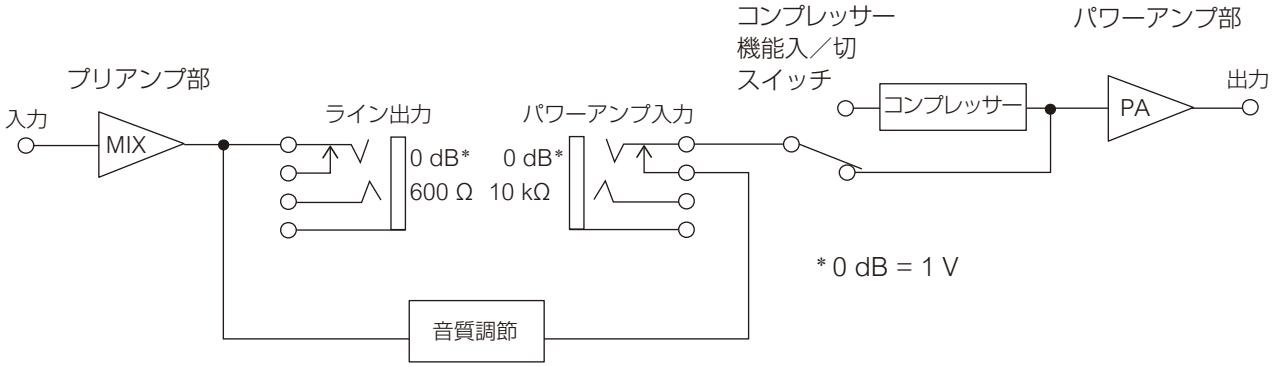
本機の予備入力 1、2 には、CD プレーヤーなどのライン出力を接続して使用します。
予備入力 1、2 はラジオ放送を除くその他の放送が始まると、自動的にミュートされて音量が下がり、放送が終了するとゆっくりと元の音量に戻ります。
ミュート量の調節が必要な場合は、P. 15「ミュート量調節のしかた」をご覧ください。



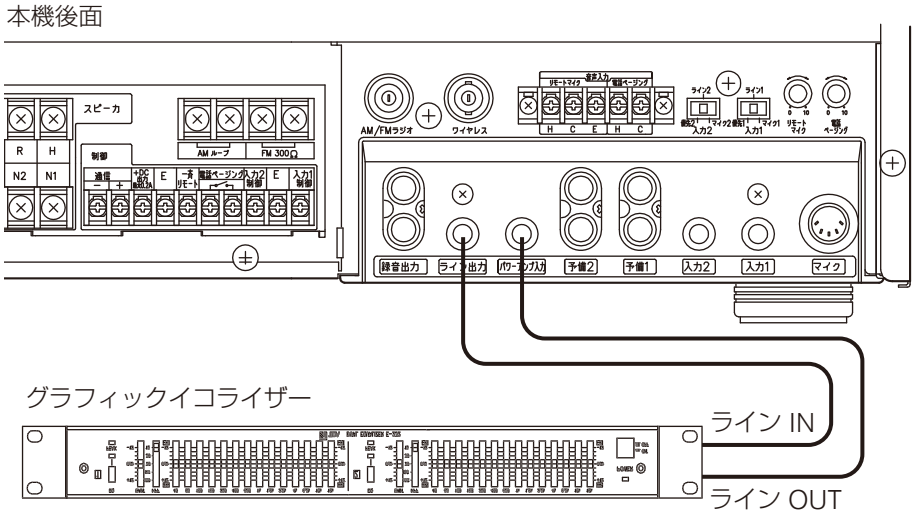


■ パワーアンプ入力の使いかた

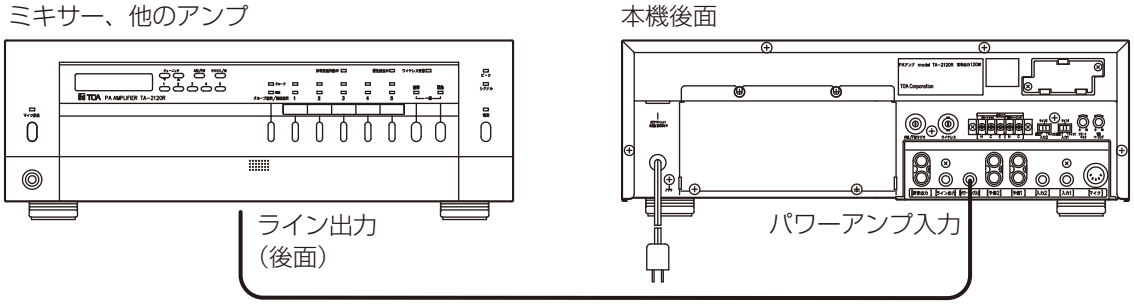
本機のパワーアンプ入力ジャックに平衡型ホーンプラグを差し込むと、プリアンプ部とパワーアンプ部の信号が切り離されます。



※ このとき、パワーアンプ入力とライン出力の間に、グラフィックイコライザーなどを接続して使用することができます。



※ また、本機を単独のパワーアンプとして使用したい場合に、パワーアンプ入力にミキサーなどのライン出力を接続してご使用ください。



■ 入力 1、入力 2、ライン出力の平衡型への変更

入力 1、入力 2 およびライン出力は、別売の平衡型トランス IT-450 を取り付けることにより、平衡型入力および平衡型出力に変更することができます。
詳しくは、販売店にご相談ください。

■ スピーカーの接続

● ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーについて

スピーカーにはハイインピーダンスとローインピーダンスのスピーカーがあります。
それぞれの用途などは、次のとおりです。

スピーカーの種別	インピーダンス	トランス	用途	スピーカーの数
ローインピーダンススピーカー	通常は 4/8/16 Ωなど	なし	・オーディオスピーカー ・サウンド用スピーカー ・車載用スピーカー	通常 1 ～ 4 個くらいまでの少数
ハイインピーダンススピーカー	スピーカーの定格入力による。（次表を参照）	あり	・非常放送用スピーカー ・ビル、工場、学校業務用スピーカー	通常小規模システムでは、1 ～数十個くらいまで。

ハイインピーダンススピーカーの定格入力とインピーダンスの関係は次のとおりです。

定格入力	インピーダンス
1 W	10 kΩ
2 W	5 kΩ
3 W	3.3 kΩ
5 W	2 kΩ
6 W	1.7 kΩ

定格入力	インピーダンス
7 W	1.4 kΩ
10 W	1 kΩ
20 W	500 Ω
30 W	330 Ω
35 W	290 Ω

定格入力	インピーダンス
50 W	200 Ω
60 W	165 Ω
80 W	125 Ω
100 W	100 Ω
120 W	83 Ω

ご注意

ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同じアンプに同時に接続して使用することはできません。

● アンプの出力とスピーカーの定格入力

● ハイインピーダンススピーカーの場合

アンプの出力 W 数 ≧ スピーカーの定格入力（W）の合計

● ローインピーダンススピーカーの場合

アンプの出力 W 数 ≦ スピーカーの定格入力（W）の合計

アンプの定格負荷インピーダンス ≦ スピーカーの合成インピーダンス

※ ローインピーダンススピーカーの場合、アンプの定格出力がすべてスピーカーに加わりますので、小さな定格入力のスピーカーでは過大入力で破損しないように注意が必要です。

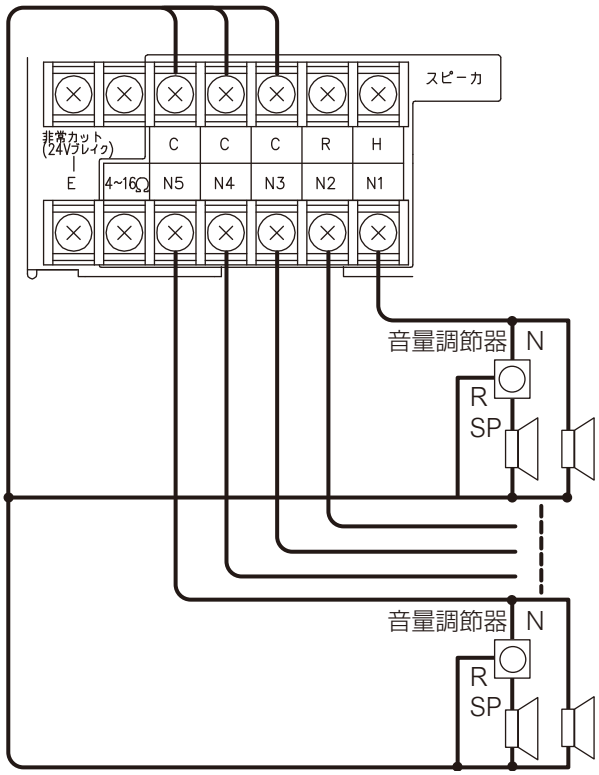
● スピーカーケーブルの最大延長距離の目安

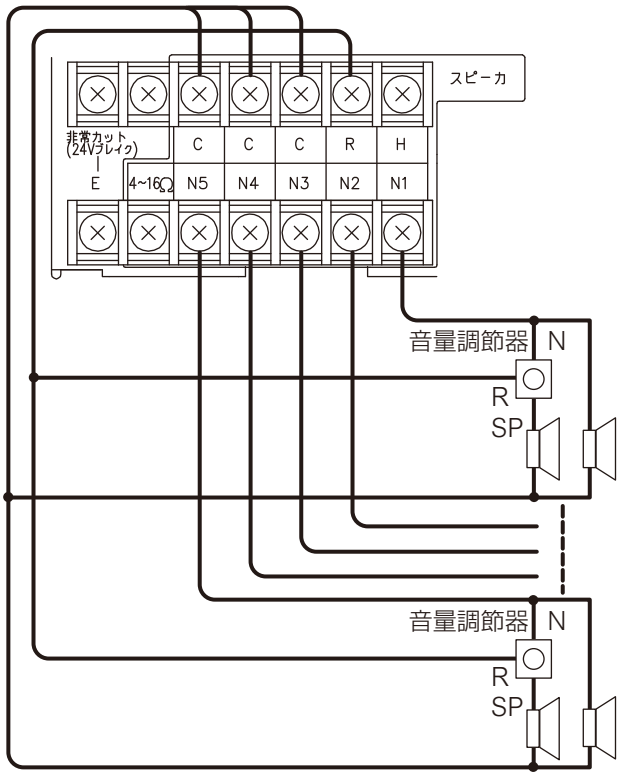
線種		ハイインピーダンス		ローインピーダンス	
断面積（より線） mm^2	径（単線） mm	軟銅 m	硬銅 m	軟銅 m	硬銅 m
—	ø0.9 ø1.2 ø1.6	185 316 561	— 303 538	15 25 46	— 24 43
□ 0.9 □ 1.25 □ 2.0	—	239 303 551	230 292 519	19 24 44	18 23 42

● ハイインピーダンススピーカー（トランス付）の接続

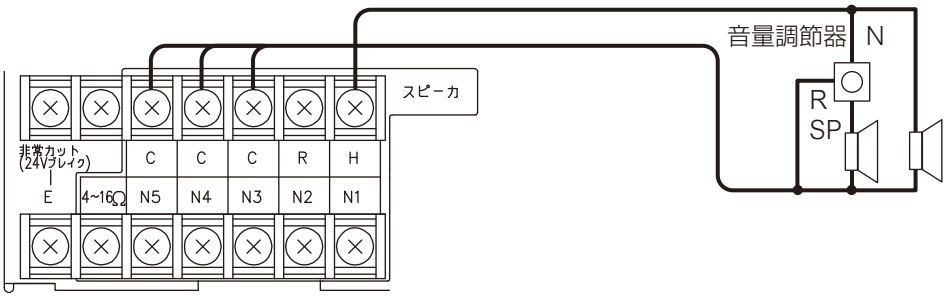
接続するスピーカーの定格入力の合計をアンプの定格出力以下にしてください。

2 線式配線	3 線式配線
この配線方式では、スピーカー側の音量調節器が絞りきってあると緊急一斉放送ができません。	この配線方式では、スピーカー側の音量調節器の位置に関係なく緊急一斉スイッチによる放送ができます。



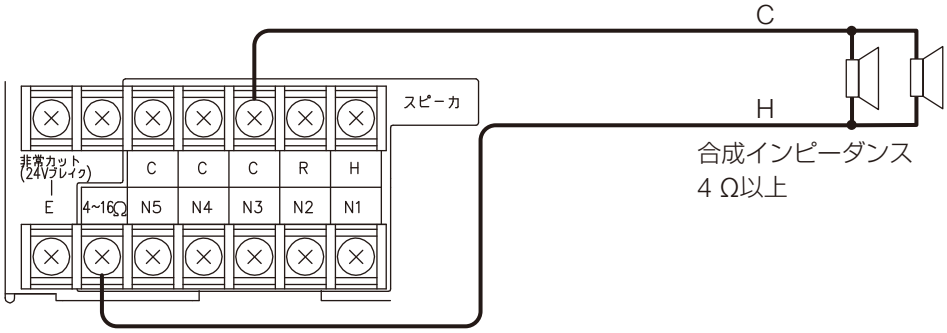


出力選択スイッチを使わないとき



● ローインピーダンススピーカーの接続

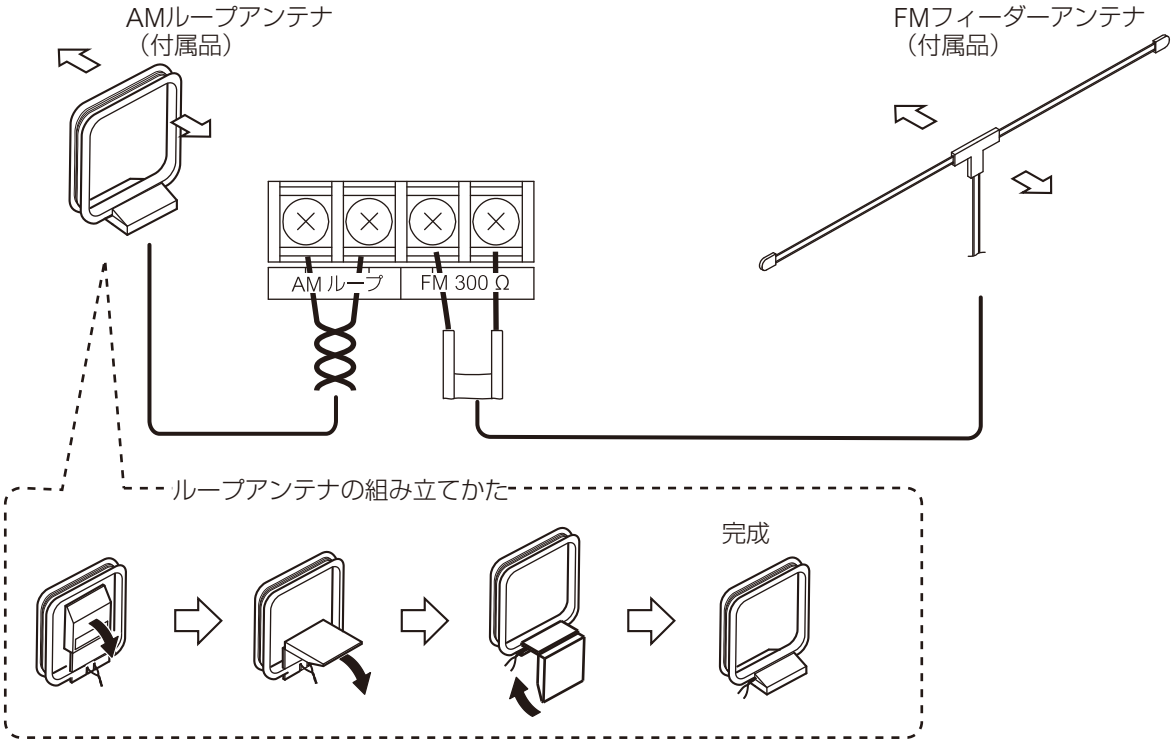
接続するスピーカーの合成インピーダンスが 4 Ω以下にならないよう、またスピーカーに許容入力以上の電力が加わらないようにしてください。



■ AM/FM アンテナの設置と接続

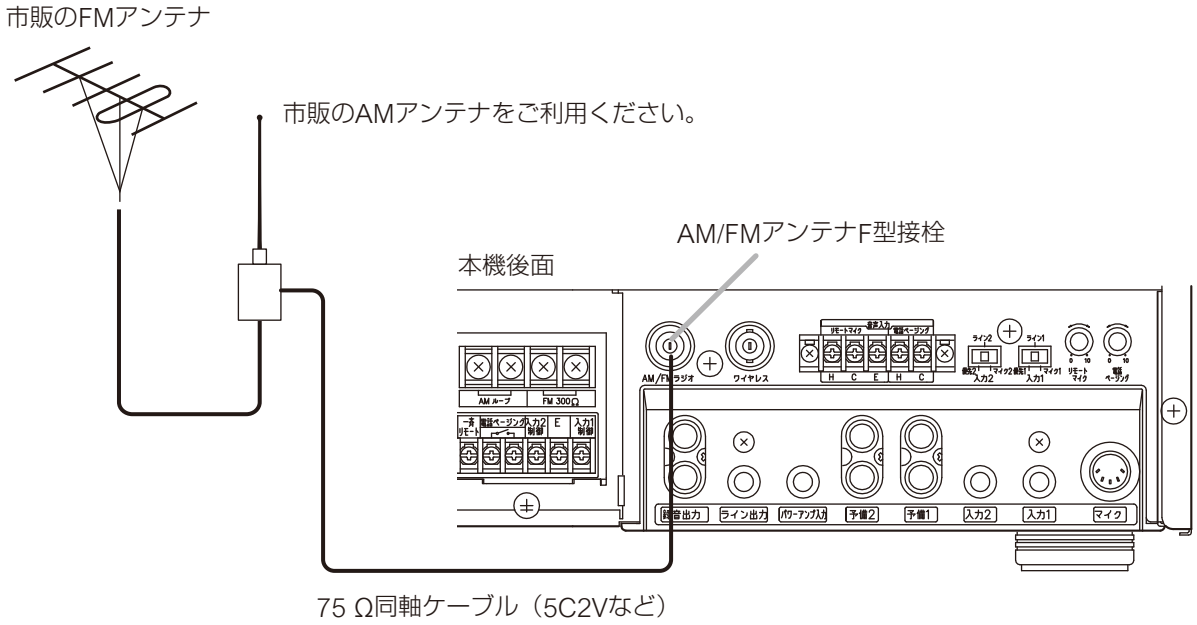
● 付属アンテナの接続のしかた

矢印の方向から来る電波がもっとも強く受信できます。放送局の方向に合わせるか、実際に受信してもっとも良好な方向を探して、固定してください。
付属アンテナは接続線の先端部分までアンテナとして働きます。途中で巻いたりすることなく、まっすぐに伸ばしてご使用ください。また、金属物に近づけて設置すると感度が低下しますので金属物から離して設置してください。



● 外部アンテナの接続のしかた

付属アンテナで良好に受信できないときは、外部アンテナを接続します。



● AM ラジオの受信対策

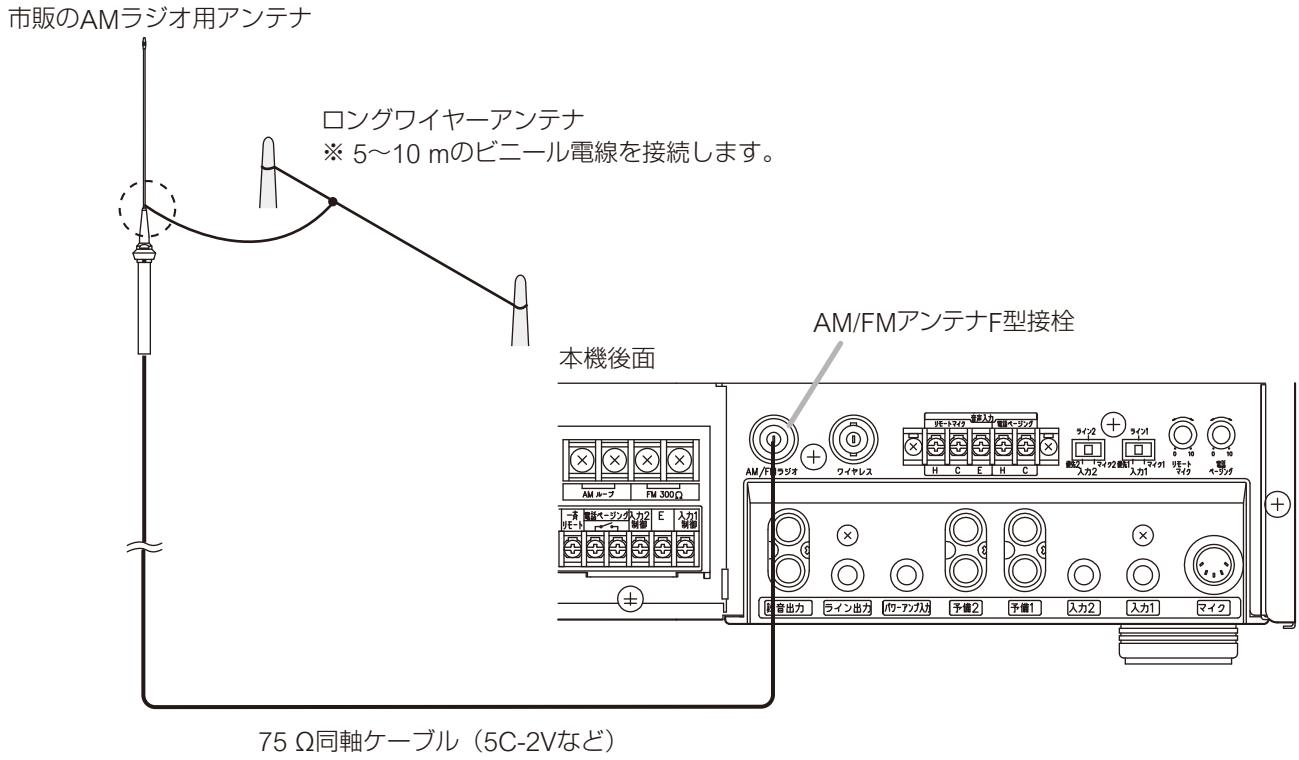
放送局が遠方であったり、付近に高層の建物が多い場合に、AM ラジオは受信状態が不安定となったり受信できなくなることがあります。
このような AM ラジオの弱電界地域については下記の対策を参考にして、アンテナを設置してください。

[一般的な事項]

- 外部アンテナを屋上などのできるだけ見通しの良い所に設置します。ビルとビルの間などに設置した場合は、十分に感度を得ることができません。
- アンテナは壁などの電波を遮断するものや金属などから 30 cm 以上離して設置してください。
- ホイップアンテナは垂直に設置してください。

[弱電界地域では]

図のように市販の外部アンテナを用意して、アンテナにビニール電線を 5 ～ 10 m 接続し、AM/FM アンテナ F 型接栓に入力します。



■ ワイヤレスチューナーユニットの組み込みかた

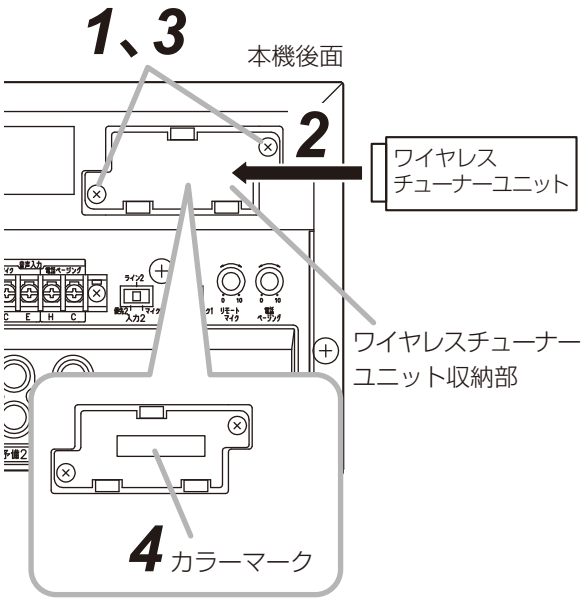
ワイヤレスマイクを使用するときには、別売の 800 MHz 帯ワイヤレスチューナーユニット WTU-1710 を組み込みます。

1 2 本のねじをゆるめてワイヤレスチューナーユニット収納部のカバーを取り外す。

2 ワイヤレスチューナーユニットの方向を間違えないように、しっかりと奥まで差し込む。

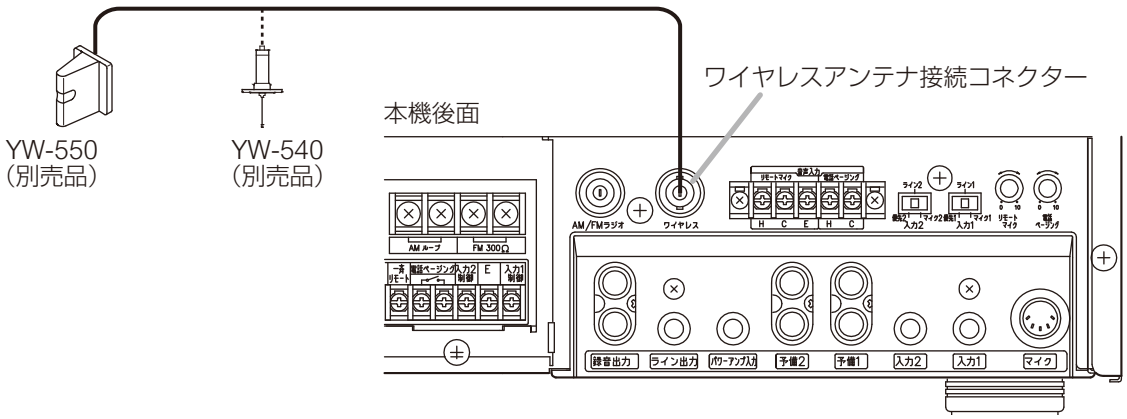
3 ワイヤレスチューナーユニット収納部のカバーを 2 本のねじで止める。

4 ワイヤレスチューナーユニットに付属しているカラーマークをワイヤレスチューナーユニット収納部のカバーに貼り付ける。



■ ワイヤレスアンテナの接続

ワイヤレスマイクを使用するときには、別売の 800 MHz 帯ワイヤレスアンテナを接続してください。



- 高周波雑音にご注意ください。
  本機、受信アンテナ、およびアンテナのケーブルは、蛍光灯、デジタル機器（パソコンなど）などの高周波雑音を発生させる機器からはできるだけ離して設置してください。
- デッドポイントにご注意ください。
  屋内でワイヤレスマイクを移動しながら使用すると、直接アンテナに届く電波と、壁などで反射して届く電波とが干渉し、音が途切れる場所（デッドポイント）があります。このような場所はアンテナの位置を移動して、デッドポイントが最も少なくなる場所に設置してください。

[ケーブルの長さの目安（ブースター内蔵型アンテナ使用時）]

	アンテナ単独使用時	YW-1000 使用時
7C-FB（低損失型）	20 ～ 70 m	80 ～ 140 m
5C-FB（低損失型）	10 ～ 50 m	60 ～ 100 m

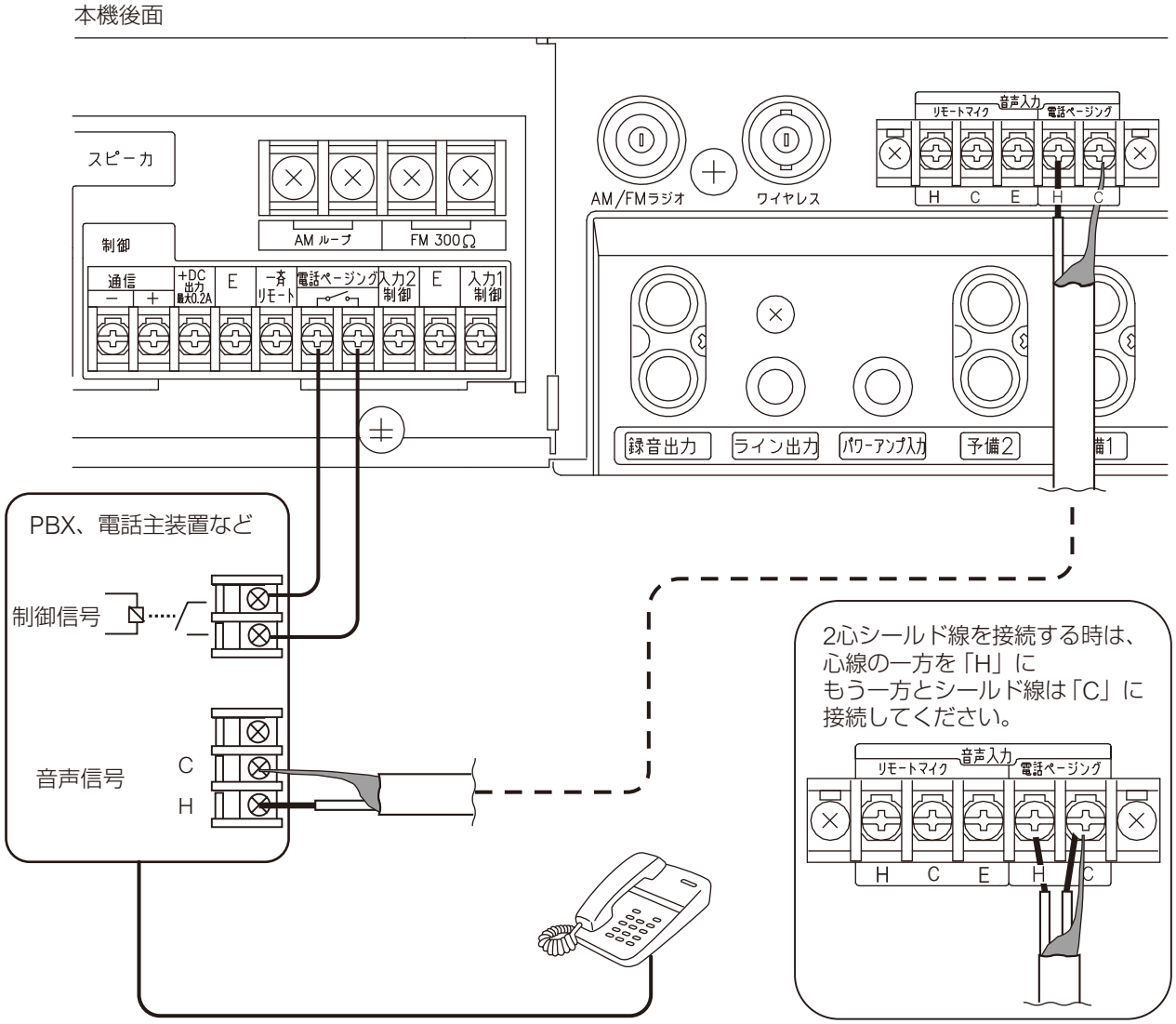
アンテナケーブルが上記アンテナ単独使用時の目安より長くなる場合は、別売のアンテナブースター YW-1000をアンテナケーブルの中間付近に挿入してください。

■ 電話ページングの接続のしかた

構内電話交換機（PBX）や電話主装置のページングトランクと接続することにより、それらに接続された電話機から、本機を電話ページング用アンプとして使用することができます。

● PBX などから本機の電源がリモートできる場合

電話機から、本機の電源リモート、緊急一斉スイッチの「入／切」、電話ページング呼び出しチャイム音（放送開始時に 2 音チャイムを演奏）の起動ができます。



- 電話ページングの音量調節は、本機後面のページング音量つまみで行います。（☞ P. 11）
- 呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）
- 電話ページング呼び出しチャイム音（2 音）の入／切は、本機前面のフロントカバー内部にある呼び出しチャイム音設定スイッチで設定します。（☞ P. 20）

● PBX などから本機の電源がリモートできない場合

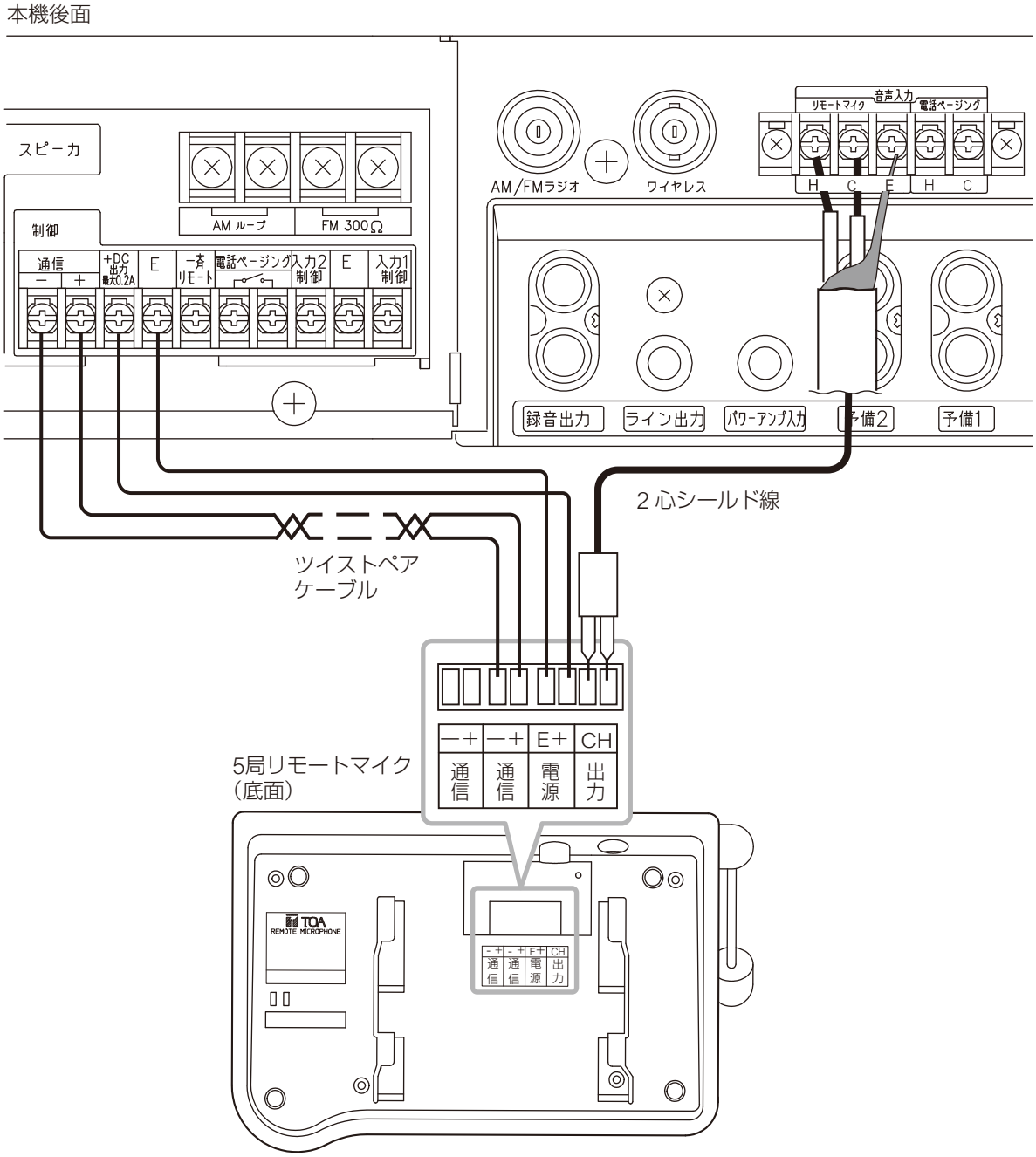
電話機から、本機の電源リモート、緊急一斉スイッチ「入／切」、電話ページングチャイムの起動はできません。このような接続で使用するときは、あらかじめ本機の電源スイッチを「入」にして出力選択スイッチを押し、放送系統を選択しておいてください。

また、このときには、ページングトランクの音声信号は、予備 1 または予備 2 に接続してください。
ページングユニットから本機の電源リモートをしない場合は、電話ページング入力からの放送はできません。

■ リモートマイクの接続のしかた

● 5 局リモートマイクの接続（1 台の場合）

別売の 5 局リモートマイク RM-2005 により、本機の電源リモート、放送系統のグループ選択、通常／緊急一斉放送の選択、呼び出しチャイム音の起動*1 ができます。



5 局リモートマイクの音量は、本機後面のリモートマイク音量つまみとリモートマイク右側面のマイク音量調節器とで適切な音量になるように調節してください。*2

- 本機と 5 局リモートマイクの通信距離は最大 800 m です。
- 音声信号は 2 心シールド線をご使用ください。（MVVS 0.75-2C シールドなど）
- 本機から電源を供給する場合は、直流抵抗 10 Ω以下のケーブルを使用してください。
- 本機と 5 局リモートマイクは、シリアル通信で相互にデータ通信を行いますので、0.65 mm² 以上のツイストペアケーブルをご使用ください。

*1 呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

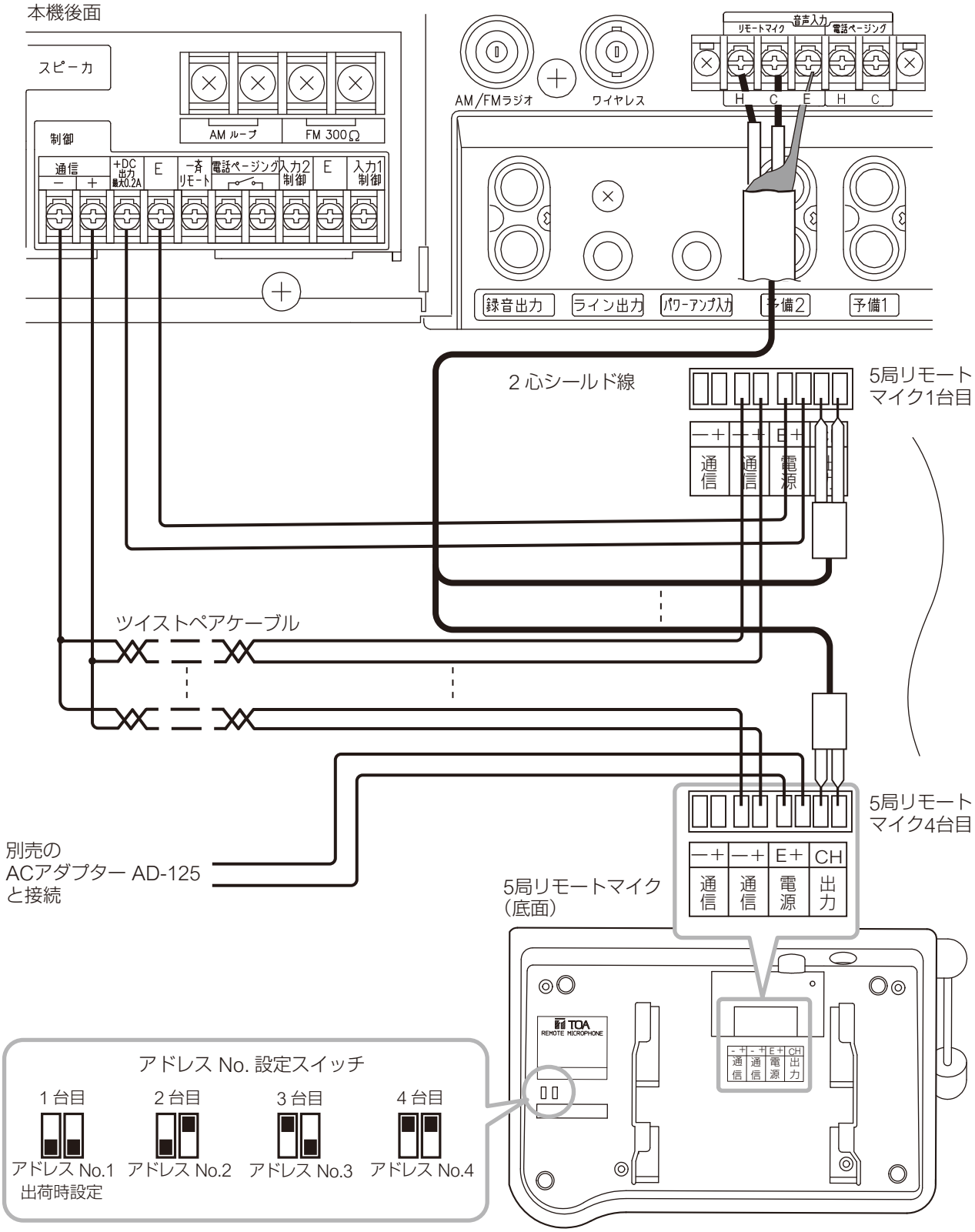
*2 リモートマイクの音量調節については、リモートマイクの取扱説明書をお読みください。

● 5 局リモートマイクが 2 台以上の場合

別売の 5 局リモートマイク RM-2005 は最大 4 台まで接続できます。

5 局リモートマイクを複数台使用するときは、それぞれにアドレス No. の設定が必要です。
アドレス No. はリモートマイク底面の DIP スイッチで設定します。
5 局リモートマイクを 1 台のみ使用するときは、アドレス No. の設定は必要ありません。

※本機から 5 局リモートマイクへは、1 台のみ DC 電源が供給できます。（最大 0.2 A）
2 台以上のリモートマイクを接続して使用するときは、別売の AC アダプター AD-125 をリモートマイクに接続してください。詳しくは、5 局リモートマイクの取扱説明書をお読みください。

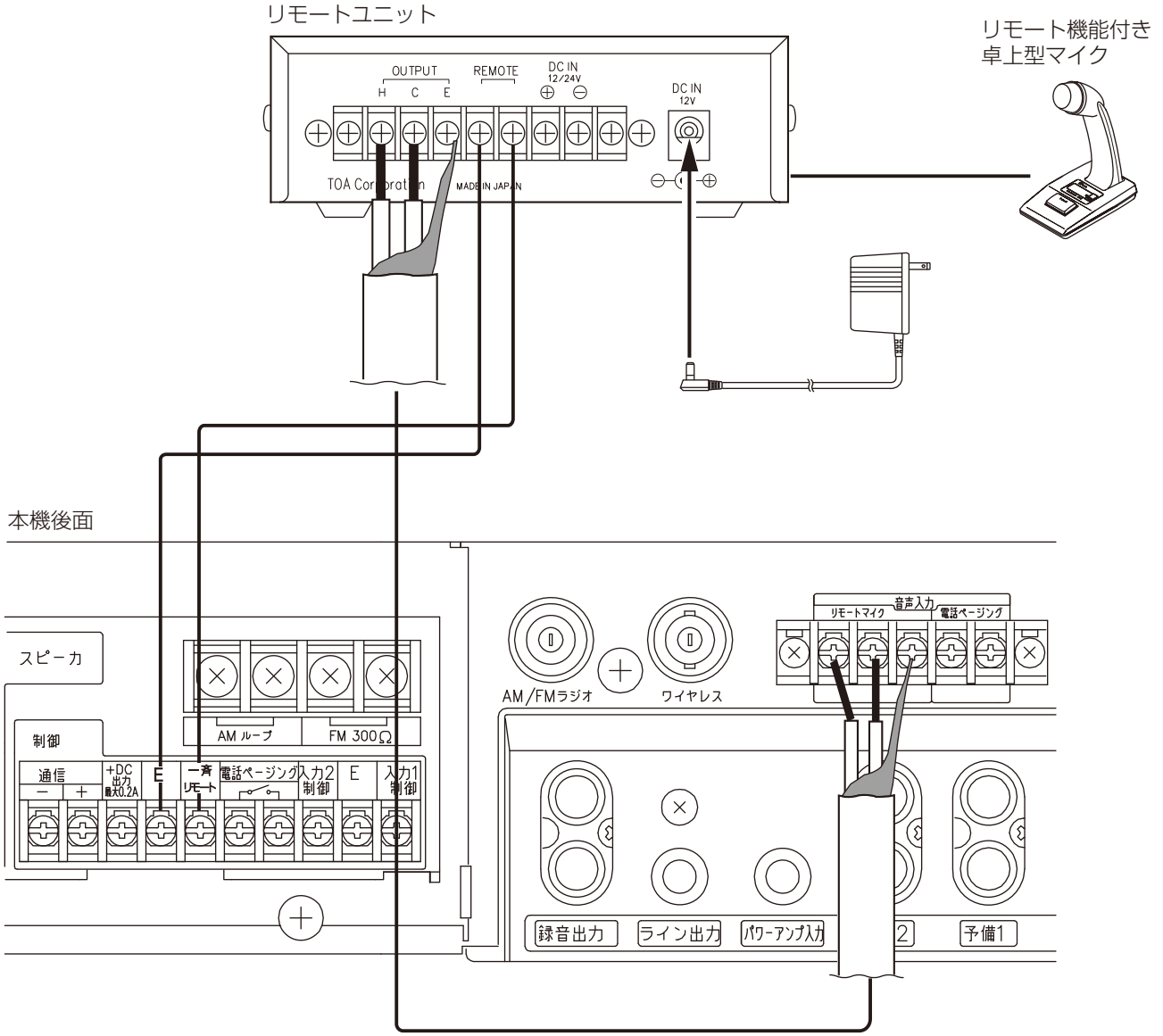


■ 一斉リモートマイクの接続

別売のリモート機能付き卓上型マイクは別売のリモートユニットを使用することにより、一斉リモートマイクとして使用することができます。

卓上型マイクから本機の電源リモート、緊急一斉スイッチの入／切、および呼び出しチャイムの起動*1 ができます。

- 音声信号は 2 心シールド線をご使用ください。（MVVS 0.75-2C シールドなど）
- リモート機能付き卓上型マイクを一斉リモートマイクとして接続したときは、適切な放送音量になるように、本機後面のリモートマイク音量つまみとリモートユニットの音量つまみで調節してください。*2



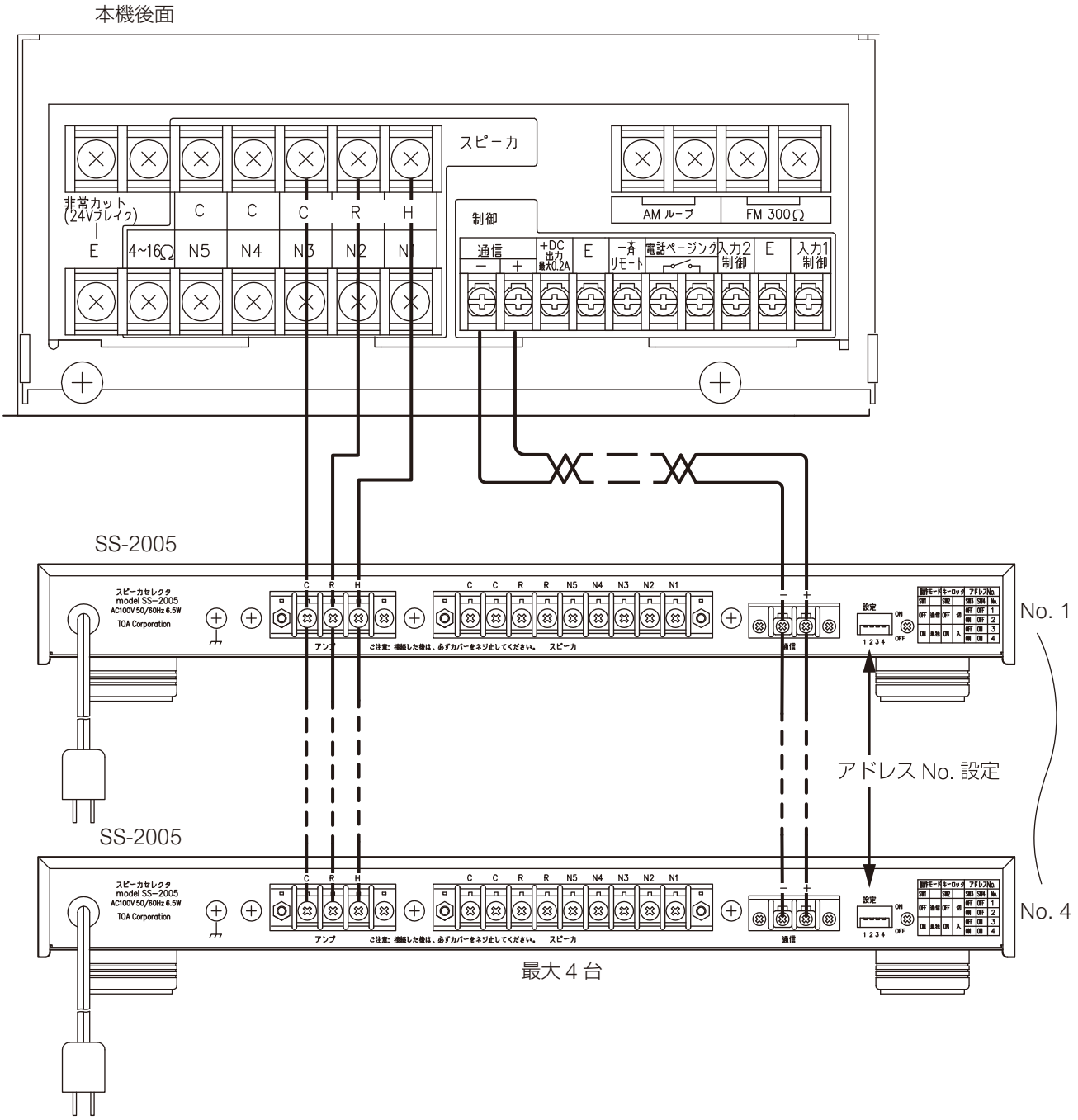
*1 呼び出しチャイム音の設定は、本機前面の呼び出しチャイム音設定スイッチで行います。（☞ P. 20）
呼び出しチャイム音の音量調節は、本機前面のフロントカバー内部にあるチャイム音量つまみで行います。（☞ P. 14）

*2 リモートユニットの音量調節については、リモートユニットの取扱説明書をお読みください。

■ 増設スピーカーセレクター（別売 SS-2005）の接続

5 局スピーカーセレクターを増設すると、本機の出力選択スイッチと合わせて 1 台増設することに 5 局増設できます。増設できる台数は 1 ～ 4 台で、本機と合わせて最大 25 局まで増設できます。ただし、5 局スピーカーセレクターを増設しても、グループ選択は 5 グループのままとなります。

※ 詳しくは増設スピーカーセレクターの取扱説明書をご覧ください。



増設スピーカーセレクターを 2 台以上接続するときは、スピーカーセレクター後面の DIP スイッチでアドレス No. を設定してください。

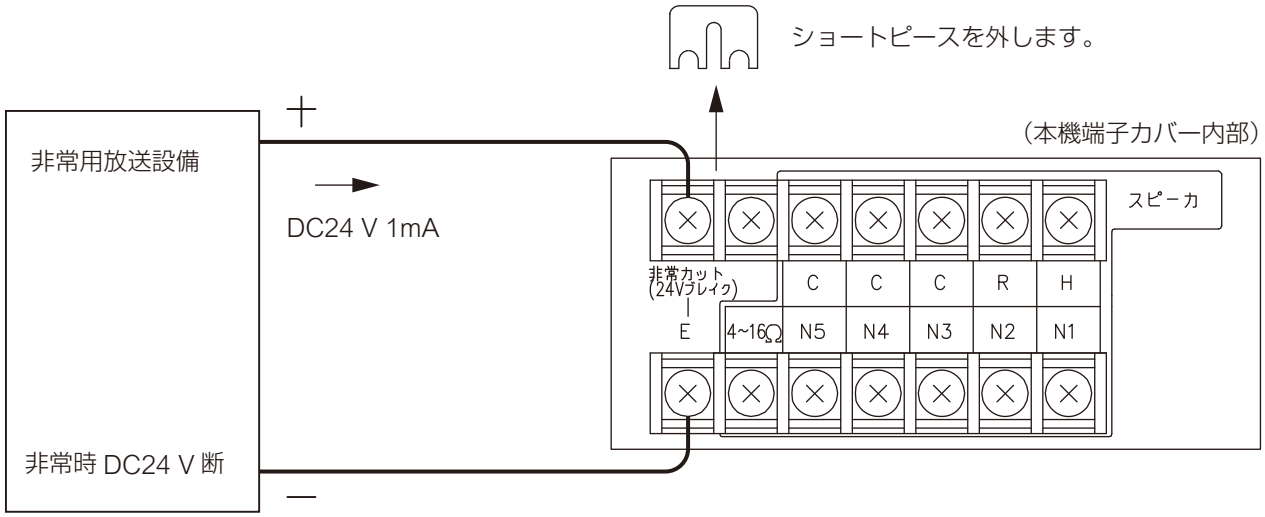
アドレス No. 1　　アドレス No. 2　　アドレス No. 3　　アドレス No. 4

※ 1 台のみ接続する場合は、アドレス No. の設定は必要ありません。

■ 非常用放送設備との接続

本機の非常カット信号端子を非常用放送設備と接続しておくと、非常放送時に本機の出力をカットすることができます。非常放送中には非常放送作動中表示灯が点灯します。

※非常カット信号は非常時に DC24 V を断制御（24 V ブレイク）する方式のものを接続してください。
　また＋－の極性がありますので、注意して接続してください。



非常カット信号として、本機の場合 1 台当たり DC24 V、約 1 mA の電流が流れます。

ご注意

非常用放送設備と接続しないときには、ショートピースは挿入したままにしてください。
ショートピースを外した状態では、アンプは動作しません。

■ 制御入力が入ったときの放送状態

本アンプは制御入力により、放送の状態が変化します。制御入力には優先順位がついており、複数の制御信号が入った場合、優先順位の最も高い制御によって放送の状態が決まります。

[制御信号が入ったときの放送状態]

制御入力				各音声入力の放送状態								
優先順位	名称	制御信号		入力1	入力2	電話ページング	リモートマイク	ページングマイク	ラジオ	予備1	予備2	ワイヤレスマイク
1	優先1*1	入力1制御とEをメイク	→	○	×	×	×	×	×	×	×	×
	優先2*2	入力2制御とEをメイク	→	×	○	×	×	×	×	×	×	×
	優先1、2	入力1、2制御とEをメイク	→	○	○	×	×	×	×	×	×	×
2	ウェストミンスター	使用しません。	→	×	×	×	×	×	×	×	×	×
3	電話ページング	電話ページング制御をメイク	→	×	×	○	×	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
4	単局リモートマイク	一斉リモートとEをメイク	→	×	×	×	○	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
5	5局リモートマイク	5局リモートマイク放送状態	→	×	×	×	○	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
	ページングマイク（前面）	マイク放送スイッチ	→	×	×	×	×	○	MUTE	MUTE	MUTE	○
	ページングマイク（後面）	ページングマイクの放送スイッチ	→	×	×	×	×	○	MUTE	MUTE	MUTE	○
6	ライン1*3	入力1制御とEをメイク	→	○	△*7	×	×	×	×	×	×	×
	ライン2*4	入力2制御とEをメイク	→	△*8	○	×	×	×	×	×	×	×
	ライン1、2	入力1、2制御とEをメイク	→	○	○	×	×	×	×	×	×	×
7	マイク1*5	音声信号	→	○	○	×	×	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
	マイク2*6	音声信号	→	○	○	×	×	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
8	ラジオ	なし	→	○	○	×	×	×	○	○	○	○
	予備1	なし	→	○	○	×	×	×	○	○	○	○
	予備2	なし	→	○	○	×	×	×	○	○	○	○
	ワイヤレスマイク	音声信号	→	○	○	×	×	×	MUTE	MUTE	MUTE	○
制御信号が入ってない場合（優先順位8の状態と同じ）			→	○	○	×	×	×	○	○	○	○

*1 入力1切換スイッチを優先1に設定
*2 入力2切換スイッチを優先2に設定
*3 入力1切換スイッチをライン1に設定
*4 入力2切換スイッチをライン2に設定
*5 入力1切換スイッチをマイク1に設定
*6 入力2切換スイッチをマイク2に設定
*7 入力2をライン2に設定し、かつ入力2制御が入っている場合は、入力1の音声とミキシングされます。
入力2をライン2に設定し、入力2制御が入っていない場合は、入力2の音声はカットされます。
また、入力2がマイク2の場合はマイク放送が可能です。
*8 入力1をライン1に設定し、かつ入力1制御が入っている場合は、入力2の音声とミキシングされます。
入力1をライン1に設定し、入力1制御が入っていない場合は、入力1の音声はカットされます。
また、入力1がマイク1の場合はマイク放送が可能です。

○　：放送可能
×　：放送カット
△　：条件により放送可能
MUTE：放送ミュート（ミュート量調節器の設定値まで音量が下がります。）

優先順位2～5の放送は、優先度の高い制御信号により放送がカットされると、高優先の制御が解除された後も放送カットのままとなります。再度放送したい場合には、一度制御をOFFにし、再び制御をONとしてください。
優先順位6～8とワイヤレスマイクの放送は、優先度の高い制御信号によりカット（またはミュート）されても、高優先の制御が解除された後、もとの放送に戻ります。
優先順位1の放送は、他の放送によりカットされることはありません。

[例：単局リモートマイクで放送中に、優先 1 の制御が入った場合の動作]

① 制御信号が入ってない場合（優先順位 8 の状態と同じ）、各音声入力の放送状態は、以下のとおりです。

入力 1	入力 2	電話ページング	リモートマイク	ページングマイク	ラジオ	予備 1	予備 2	ワイヤレスマイク
○	○	×	×	×	○	○	○	○

↓

② 単局リモートマイク（優先 4）から放送があると、各音声入力放送状態は、以下となります。

入力 1	入力 2	電話ページング	リモートマイク	ページングマイク	ラジオ	予備 1	予備 2	ワイヤレスマイク
×	×	×	○	×	MUTE	MUTE	MUTE	○

↓

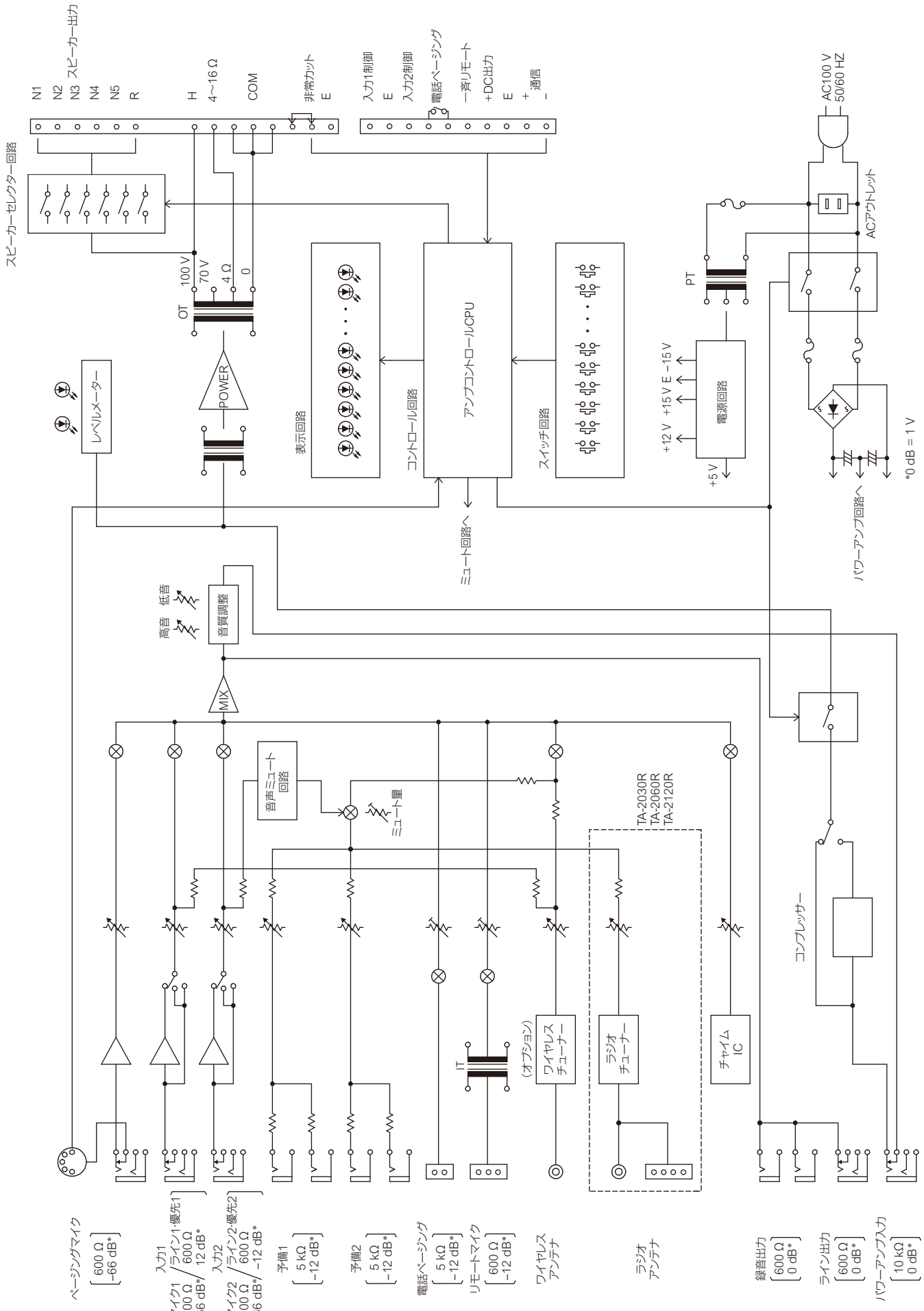
③ 優先 1 の制御が入ると放送状態は、以下となります。

入力 1	入力 2	電話ページング	リモートマイク	ページングマイク	ラジオ	予備 1	予備 2	ワイヤレスマイク
○	×	×	×	×	×	×	×	×

↓

④ 優先 1 の制御が OFF になると、①の状態に戻ります。

■ ブロック図


N1
N2
N3 スピーカー出力
N4
N5
R
H
4~16 Ω
COM
非常カット
E
入力1制御
E
入力2制御
電話ページング
一斉リモート
+DC出力
E
+
通信
−
AC100 V
50/60 HZ
ACアウトレット
スピーカーセレクター回路
OT
100 V
70 V
4 Ω
0
POWER
レベルメーター
表示回路
コントロール回路
アンプコントロールCPU
スイッチ回路
PT
電源回路
+12 V
+15 V
E
−15 V
+5 V
*0 dB = 1 V
パワーアンプ回路へ
ミュート回路へ
低音
高音
音質調整
MIX
音声ミュート回路
ミュート量
TA-2030R
TA-2060R
TA-2120R
コンプレッサー
IT
(オプション)
ワイヤレスチューナー
ラジオチューナー
チャイムIC
ページングマイク
600 Ω
−66 dB*
入力1
ライン1・優先1
600 Ω
12 dB*
マイク1
600 Ω
−66 dB*
入力2
ライン2・優先2
600 Ω
−12 dB*
マイク2
600 Ω
−66 dB*
予備1
5 kΩ
−12 dB*
予備2
5 kΩ
−12 dB*
電話ページング
5 kΩ
−12 dB*
リモートマイク
600 Ω
−12 dB*
ワイヤレスアンテナ
ラジオアンテナ
録音出力
600 Ω
0 dB*
ライン出力
600 Ω
0 dB*
パワーアンプ入力
10 kΩ
0 dB*

故障かなと思ったら

電源が入らない、音が出ないなどの場合には、以下の説明に従って処置してください。本機の機能が回復しないで、アフターサービスが必要なときには、お買い求めの販売店にご相談ください。

症状	点検項目	処置
電源スイッチを「入」にしても電源表示灯が点灯しない。（電源が入らない。）	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	電源プラグを一度抜いて、再度コンセントに差し込みます。
音が出ない。	入力に対応した音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回して適切な音量にしてください。（☞ P. 14）
	入力 1、2 にマイクを接続したとき、後面の入力切換スイッチをマイク 1､2 にしていますか？	入力 1 と入力 2 の入力切換スイッチをそれぞれマイク 1、マイク 2 に切り換えてください。（☞ P. 32）
	放送系統を選択していますか？	出力選択スイッチを押して放送系統を選択します。
	優先順位の高い放送がされていませんか？（優先放送中表示灯が点灯していませんか？）	優先順位の高い放送が終了してから放送してください。
	非常放送中ではありませんか？（非常放送作動中表示灯が点灯していませんか？）	非常放送が終了するまで、お待ちください。
	スピーカーは正しく接続されていますか？	スピーカーを正しく接続してください。（☞ P. 36）
音が小さくなったり、大きくなったりする。	予備 1、2 入力のとき、他に優先順位の高い放送がされていませんか？	優先順位の高い放送が終了してから放送するか、ミュート回路のミュート量を調節してください。（☞ P. 15）
ラジオが受信できない。	ラジオの音量つまみが「0」になっていませんか？	音量つまみを時計回りに回して適切な音量にしてください。（☞ P. 14）
	受信周波数は放送局の周波数に合っていますか？	チューニングスイッチ（▼▲）を押して聞きたい放送局の周波数に合わせます。（☞ P. 25）
	AM/FM アンテナは接続されていますか？	AM/FM アンテナを接続してください。（☞ P. 38）
ワイヤレスマイクを使用しているとき、ワイヤレス受信表示灯が点灯しない。（受信しない）	チューナーユニットは入っていますか？	チューナーユニットを入れてください。（☞ P. 40）
	ワイヤレスマイクの電源スイッチは「ON」になっていますか？	ワイヤレスマイクの電源スイッチを「ON」にしてください。
	ワイヤレスマイクの乾電池は消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。
	ワイヤレスマイクとチューナーユニットの周波数（グループとチャンネル）が合っていますか？	ワイヤレスマイクとチューナーユニットの周波数（グループとチャンネル）を同じにしてください。（☞ P. 28）

ご注意

本機は、落雷などで発生する大きな雑音信号が入出力線（制御入力線やスピーカー線など）や電源から入力されたときに、本機を故障から保護するために内部回路が遮断し、一時的に電源が入らなくなることがあります。

本機の電源が入らないときは、故障と思う前に、一度電源プラグをコンセントから抜いて、数秒後に再度コンセントに差し込んでください。

仕　様

	TA-2030	TA-2060	TA-2120	TA-2030R	TA-2060R	TA-2120R
電源	AC100 V、50/60 Hz					
定格出力	30 W	60 W	120 W	30 W	60 W	120 W
消費電力						
定格出力時	70 W	120 W	200 W	73 W	123 W	203 W
電気用品安全法	36 W	53 W	80 W	39 W	56 W	83 W
入力 *1	優先 1、2：–12 dB *2、600 Ω、不平衡、前面ボリューム付き（平衡型トランス IT-450 取り付け可能） 電話ページング：–12 dB *2、5 kΩ、不平衡、背面ボリューム付き、M3 ねじ端子*3 リモートマイク：–12 dB *2、600 Ω、平衡、背面ボリューム付き、M3 ねじ端子*3 ページングマイク：–66 dB *2、600 Ω、不平衡、前面ボリューム付き 前面･ホーンジャック、後面･DIN ジャック（いずれか一方のみ使用可能） ライン 1、2：–12 dB *2、600 Ω、不平衡、前面ボリューム付き、ホーンジャック（平衡型トランス IT-450 取り付け可能） マイク 1、2：–66 dB *2、600 Ω、不平衡、前面ボリューム付き、ホーンジャック（平衡型トランス IT-450 取り付け可能） 予備 1、2：–12 dB *2、5 kΩ、不平衡、前面ボリューム付き、RCA ピンジャック ワイヤレスチューナー：WTU-1710（別売）を 1 台装着可 パワーアンプ：0 dB *2、10 kΩ、不平衡、ホーンジャック					
出力	スピーカー出力：ハイインピーダンスラインまたは 4 Ω、M4 ねじ端子*3 5 局スピーカーセレクター：出力を個別、グループ各 5 系統放送可能（通常･緊急一斉放送可） 録音出力：0 dB *2、600 Ω、不平衡、RCA ピンジャック ライン出力：0 dB *2、600 Ω、不平衡、ホーンジャック（平衡型トランス取り付け可能）					
DC 出力	DC12 V、200 mA 以下（RM-2005、RU-2001、RU-2002 を 1 台接続可）、M3 ねじ端子*3					
歪率	0.5% 以下（1 kHz、定格出力）					
周波数特性	50 Hz ～ 20 kHz ± 3 dB					
音質調整	100 Hz、10 kHz にて± 10 dB 以上					
SN 比	60 dB 以上					
制御入力	非常カット入力（DC24 V ブレイク）、電話ページング制御入力、一斉リモート制御入力、通信制御入力、入力 1・2 制御入力、開放電圧：DC15 V、短絡電流：3 mA 以下					
内蔵チャイム	上り 4 音・下り 4 音、上り 4 音、2 音、1 音（切り換え式・前面ボリューム付き）					
機能	コンプレッサー機能：過大入力時、出力を定格出力に抑圧する（コンプレッサー機能入／切スイッチ付き） ミュート機能：マイク放送時に予備 1、2 の放送をミュートする（ミュート量調節器付き） ※ TA-2030R、TA-2060R、TA-2120R はラジオ放送の音声もミュートされます。					
ラジオチューナー部	――――			受信周波数 AM : 522 ～ 1629 kHz、FM : 76 ～ 108 MHz AM/FM 5 局プリセット、AM/FM バンド切換スイッチ、メモリー選局スイッチ 電源は本体と連動（本体電源入の場合、ラジオチューナー部の電源入／切可）		
使用温度範囲	–10 ～ +50°C					
仕上げ	前面パネル：ABS 樹脂、メタリックグレー、塗装 ケース：表面処理鋼板、メタリックグレー、塗装					
寸法	420（幅）× 148（高さ）× 270（奥行）mm					
質量	6.6 kg	6.9 kg	8 kg	7.1 kg	7.4 kg	8.5 kg
付属品	マーキングシール 1			マーキングシール ..... 1 AM ループアンテナ ..... 1 FM アンテナ 1		

*1 優先 1、ライン 1、マイク 1 のいずれか 1 つと優先 2、ライン 2、マイク 2 のいずれか 1 つが選択できます。（選択式）
*2 0 dB = 1 V
*3 M3 ねじ端子のバリアー間隔：6.4 mm、M4 ねじ端子のバリアー間隔：9 mm

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） **0120-108-117** ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ IP電話からはつながりません。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）	

商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ　https://www.toa.co.jp/

TOA 株式会社

133-02-00127-03